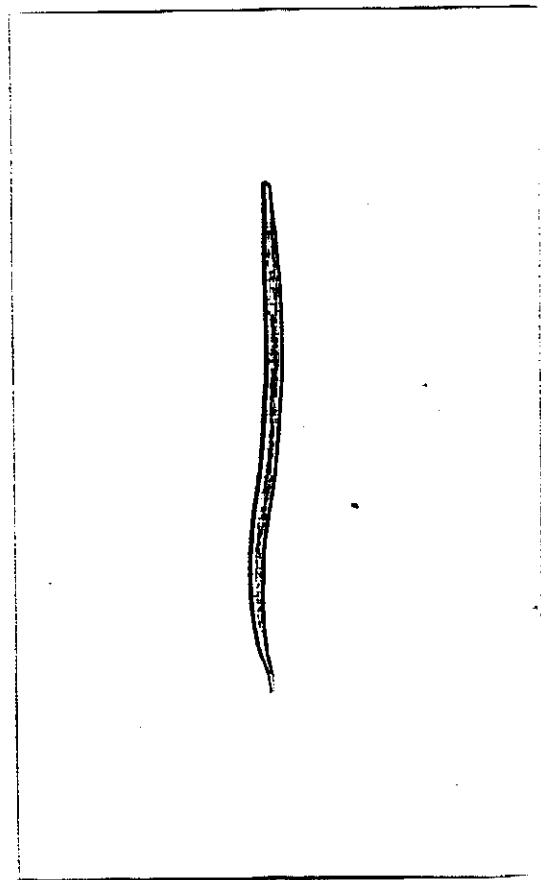


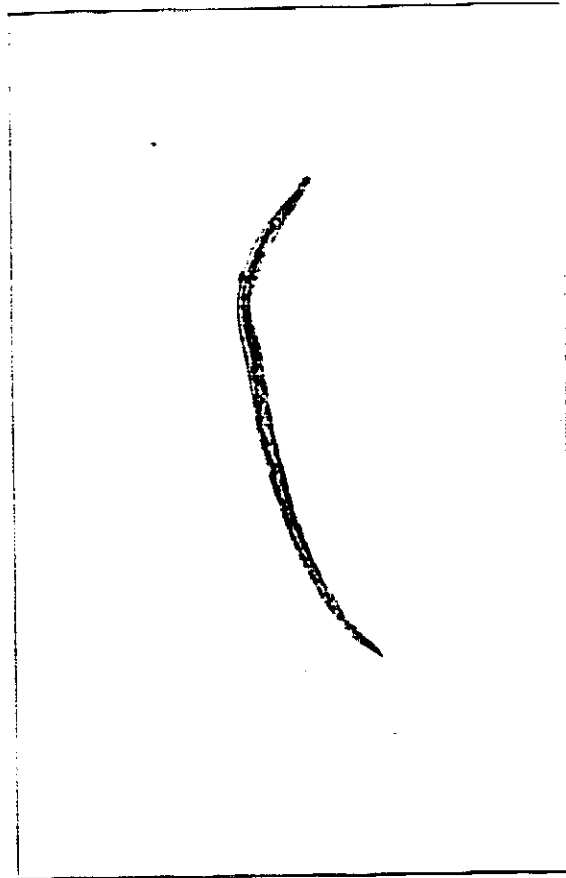


115111

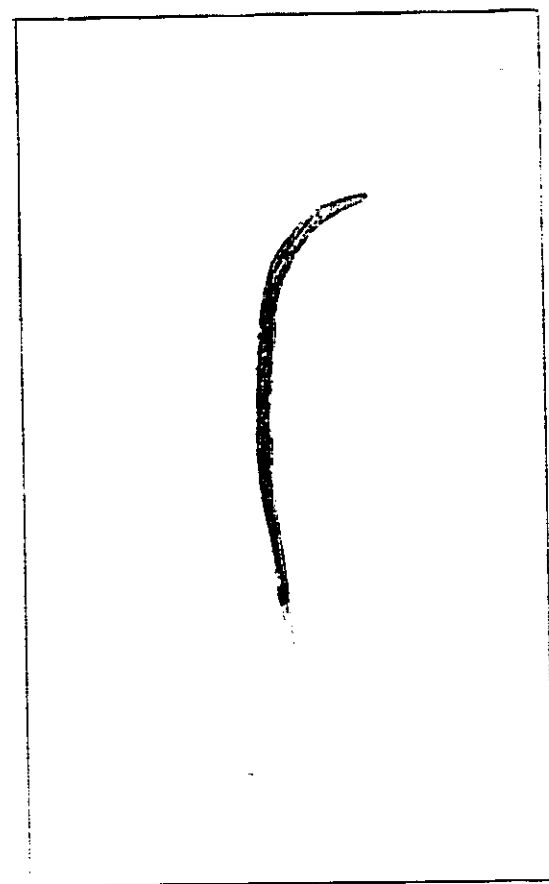
経膈感染24時間目 肺ヨリ 體長 0.6831
體幅 0.02457



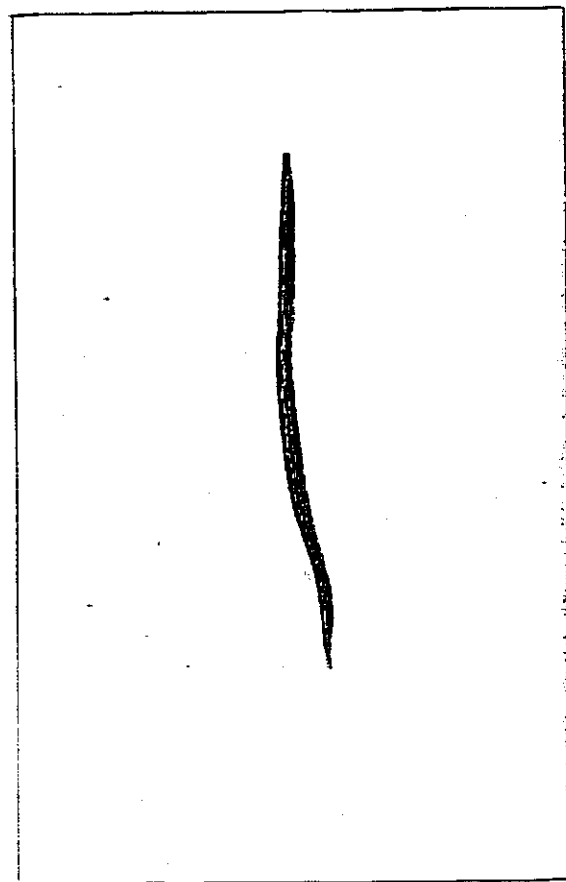
経膈感染24時間目 胃ヨリ 體長 0.6955
體幅 0.02485



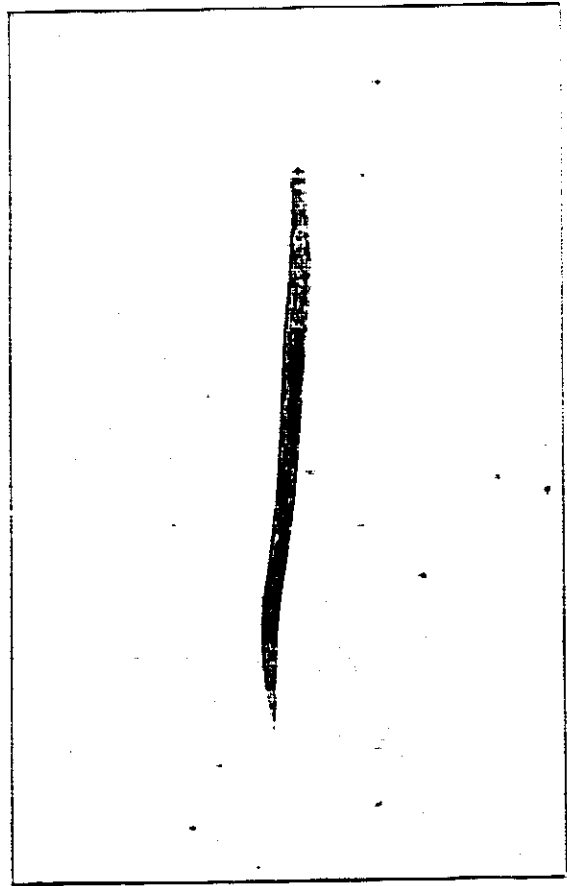
経膈感染24時間目 気管ヨリ 體長 0.6697
體幅 0.02492



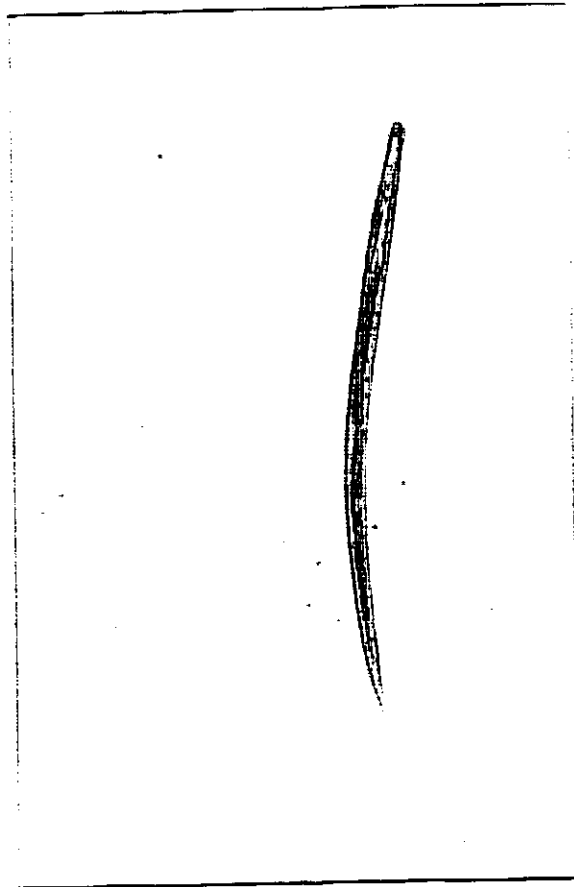
経膈感染24時間目 小腸ヨリ 體長 0.7009
體幅 0.02504



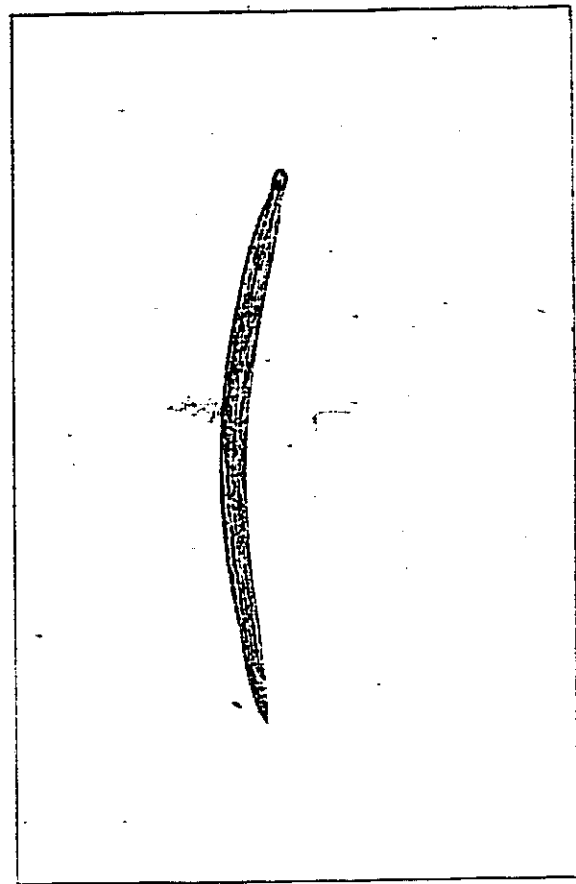
経皮感染 48時間目 肺ヨリ 體長 0.7333
體幅 0.03360



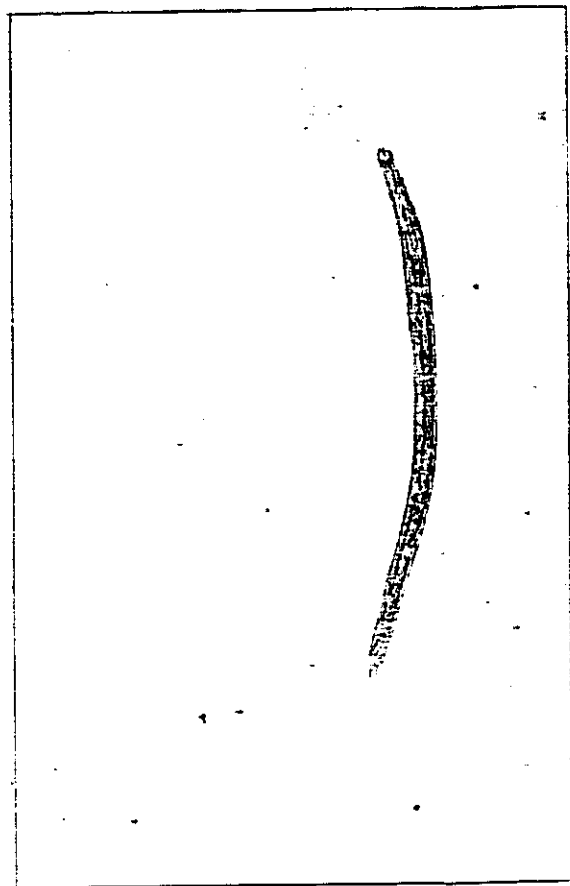
経皮感染 48時間目 小腸ヨリ 體長 0.7751
體幅 0.03399



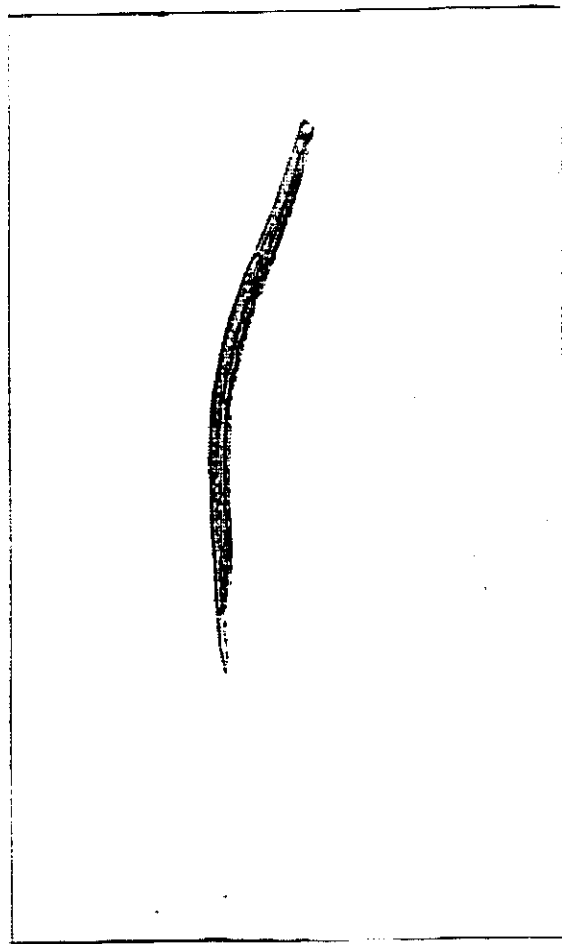
経皮感染 48時間目 気管ヨリ 體長 0.7389
體幅 0.03112



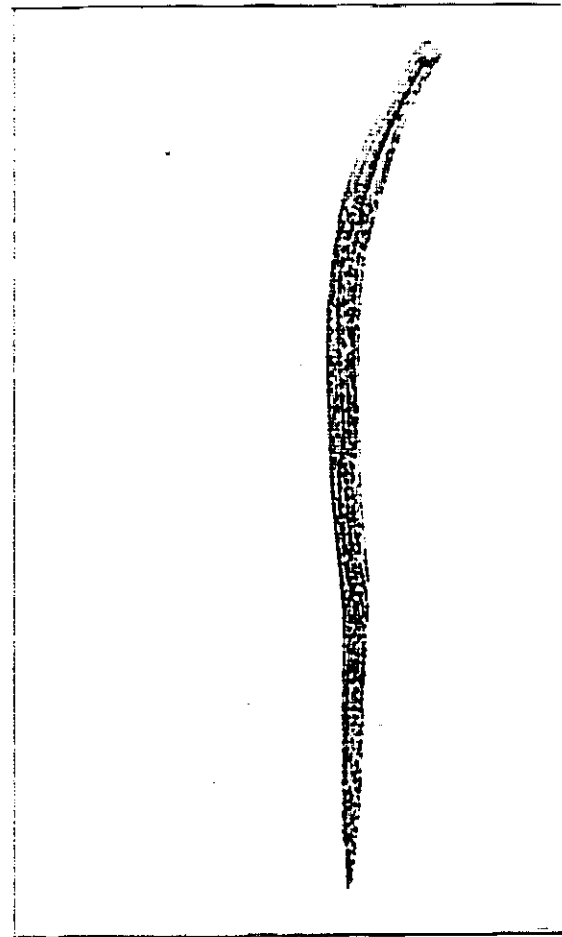
経皮感染 48時間目 胃ヨリ 體長 0.7526
體幅 0.03338



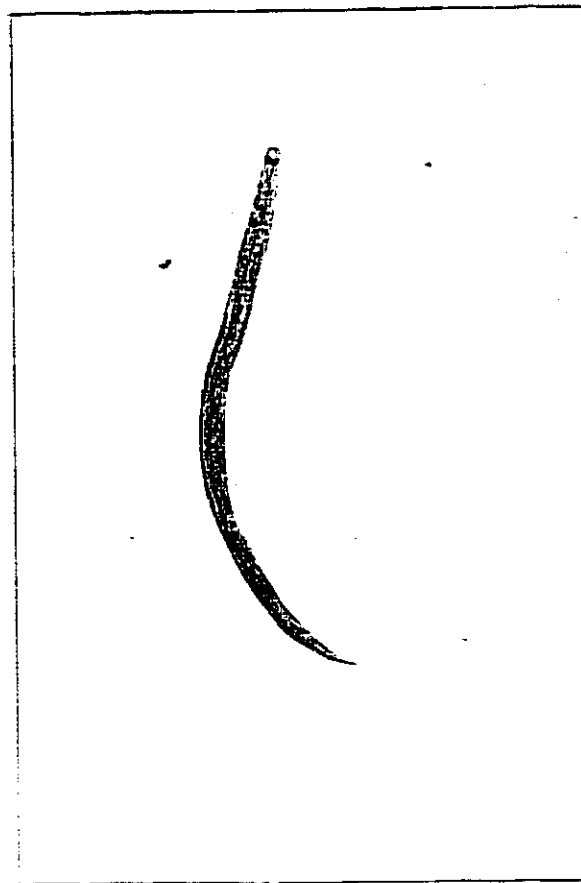
經胸感染72時間目 肺 體長 0.7426 mm
體幅 0.03096 mm



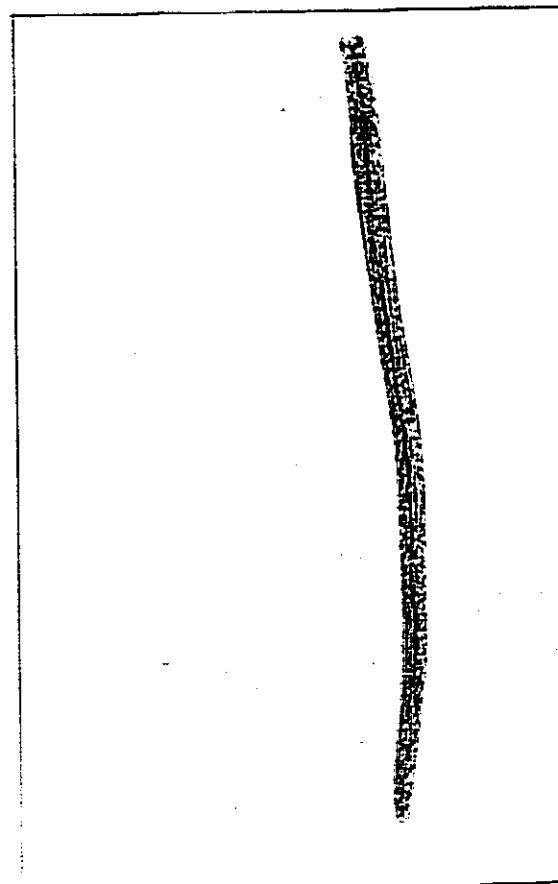
經胸感染72時間目 小腸 體長 0.9992 mm
體幅 0.04043 mm



經胸感染72時間目 氣管 體長 0.7511 mm
體幅 0.03346 mm

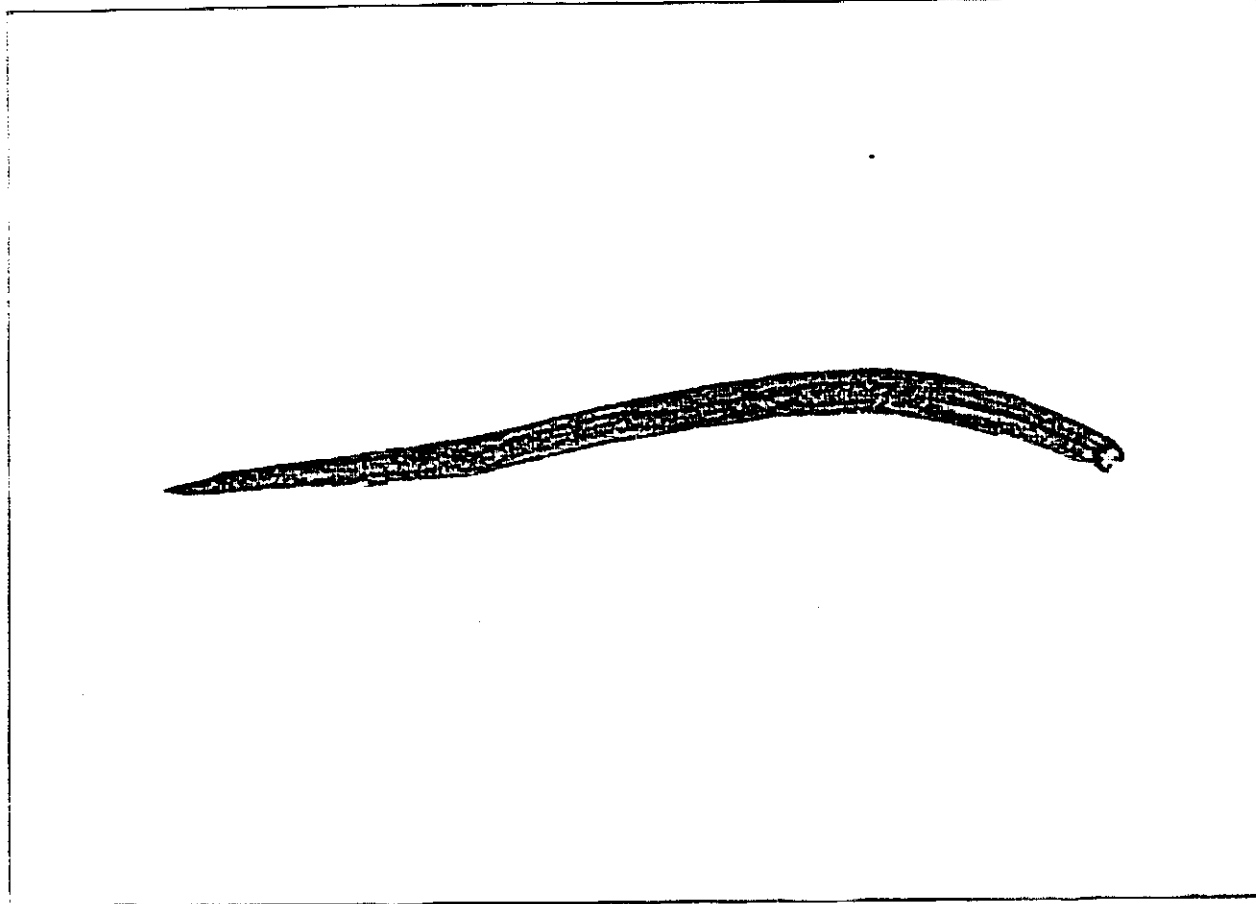


經胸感染72時間目 胃 體長 1.0047 mm
體幅 0.04044 mm



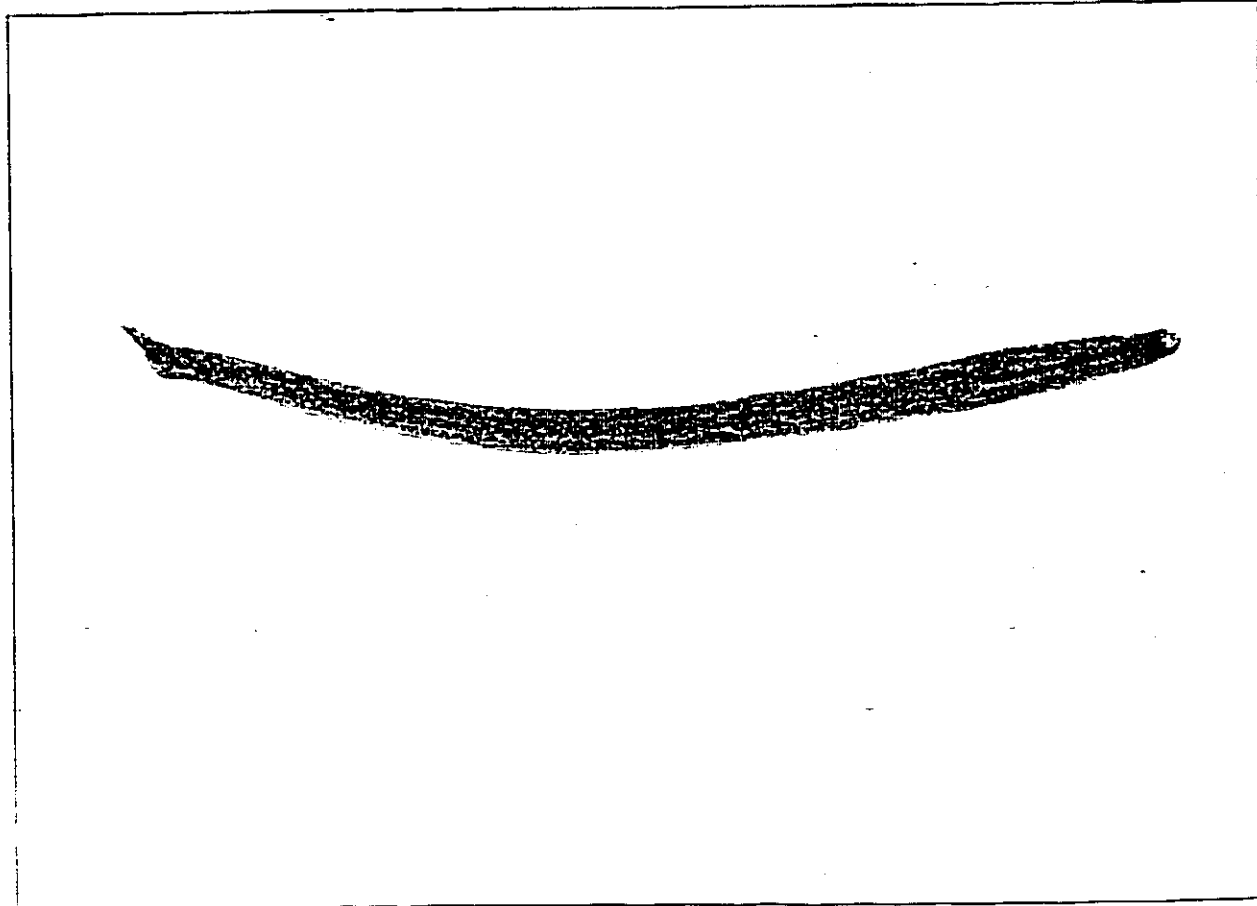
經 膚 感 染 4 日 目

體長 2.07
體幅 0.06446 mm

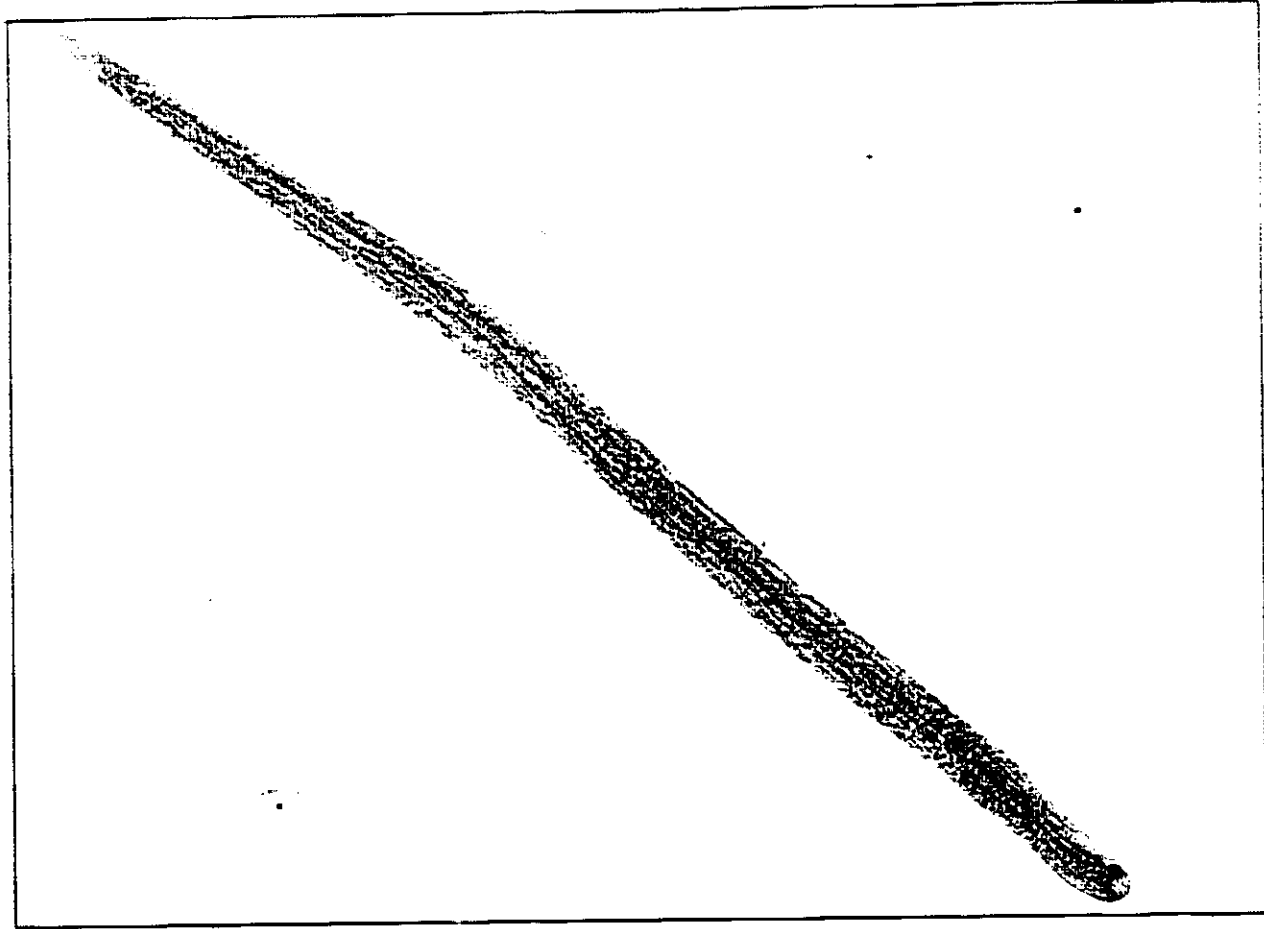


經 膚 感 染 4 日 目

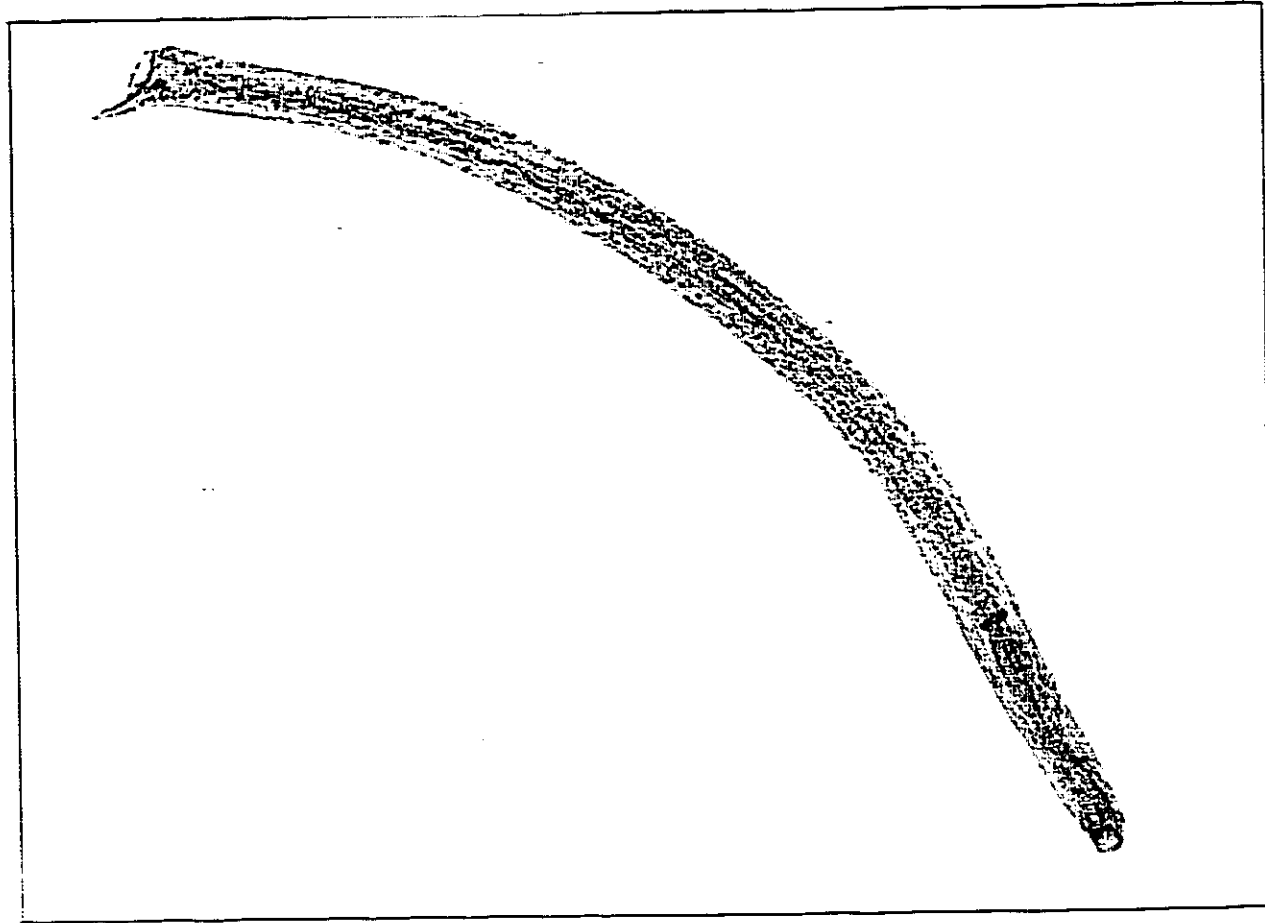
體長 1.37
體幅 0.06446 mm



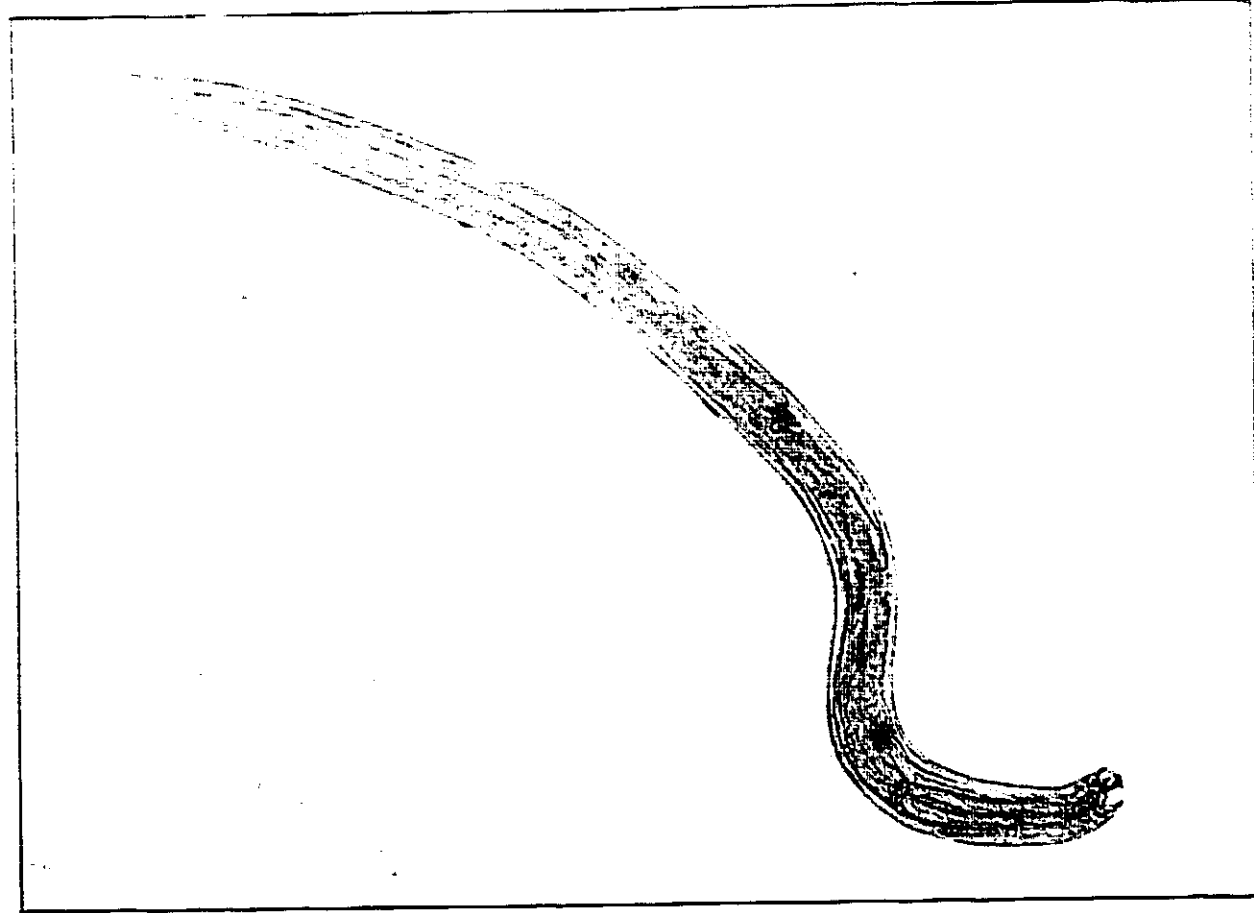
經病感染5日目 ③ 體長 2.3
體幅 0.09538 mm



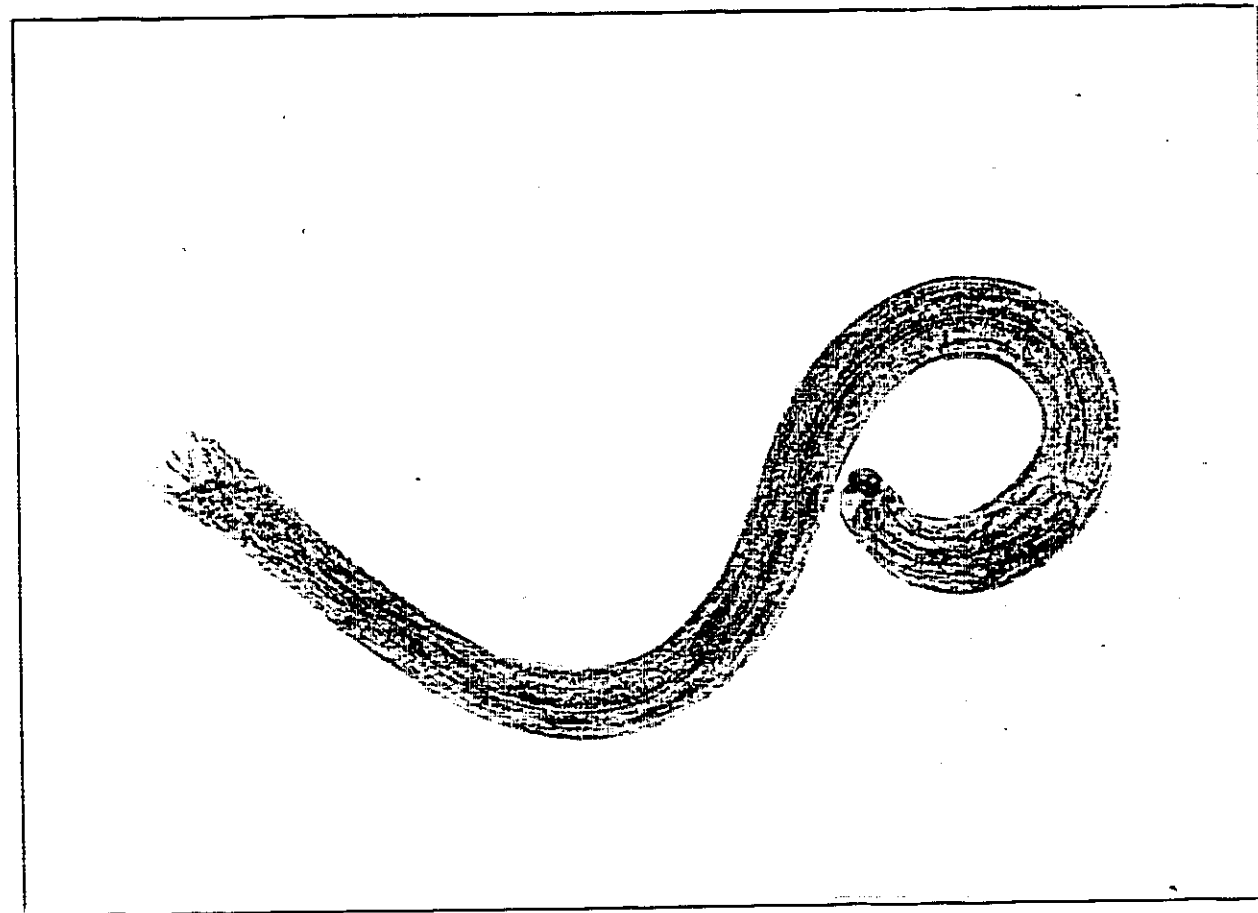
經病感染5日目 ④ 體長 2.3
體幅 0.09538 mm



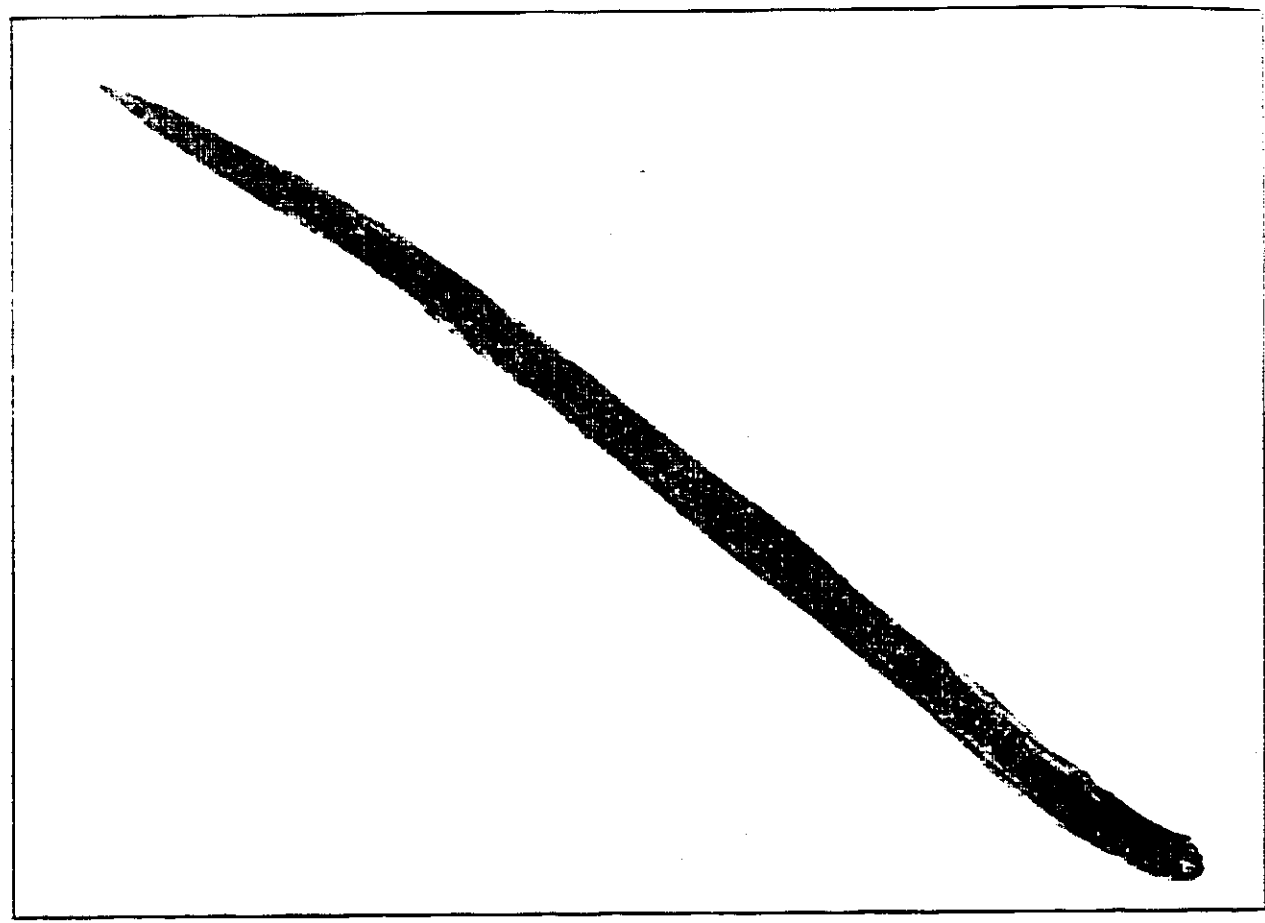
経背感染6日目 ④ 最後ノ脱皮セントスルモノ 體長 2.75mm
幅 0.5mm



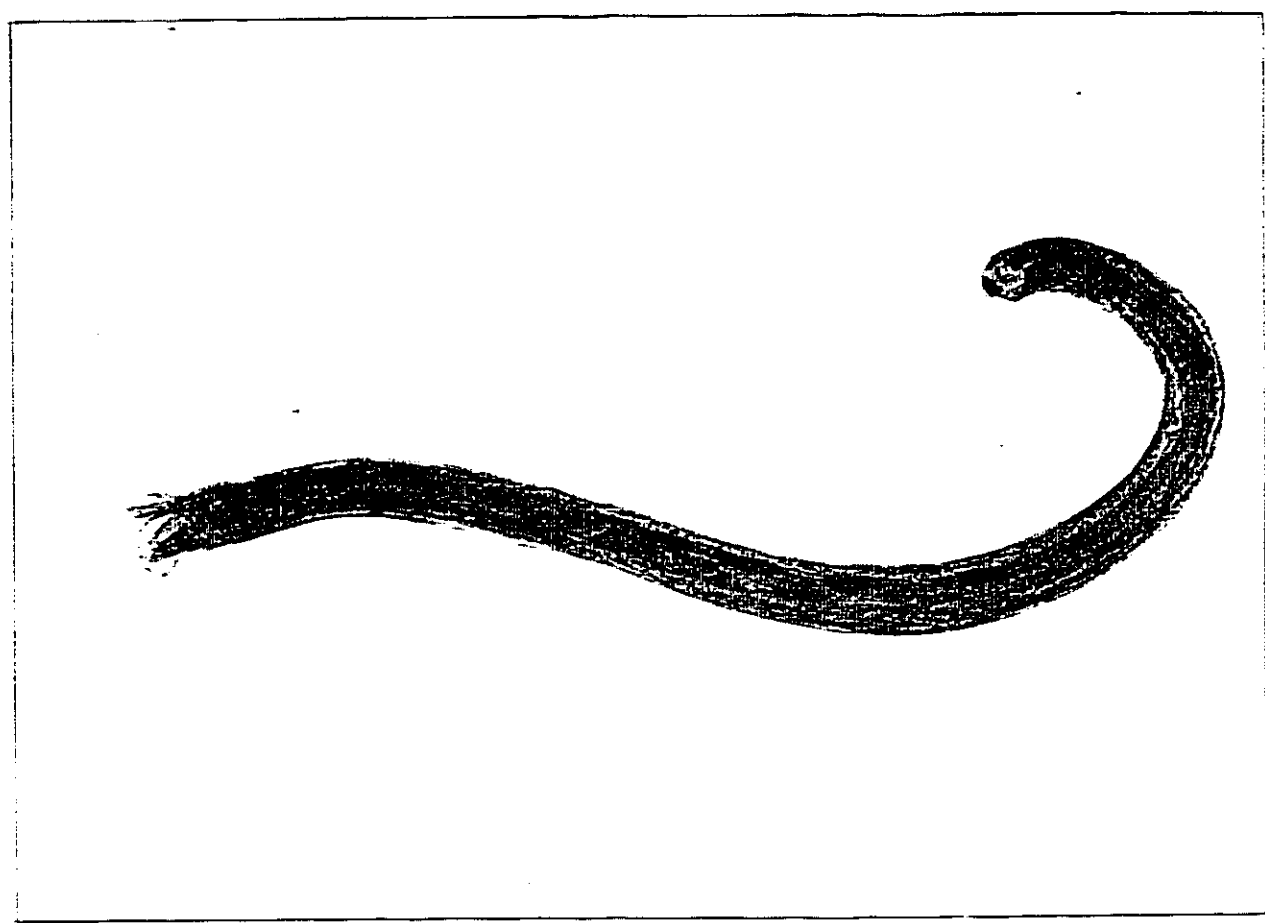
経背感染6日目 ⑤ 最後ノ脱皮セントスルモノ 體長 2.55mm



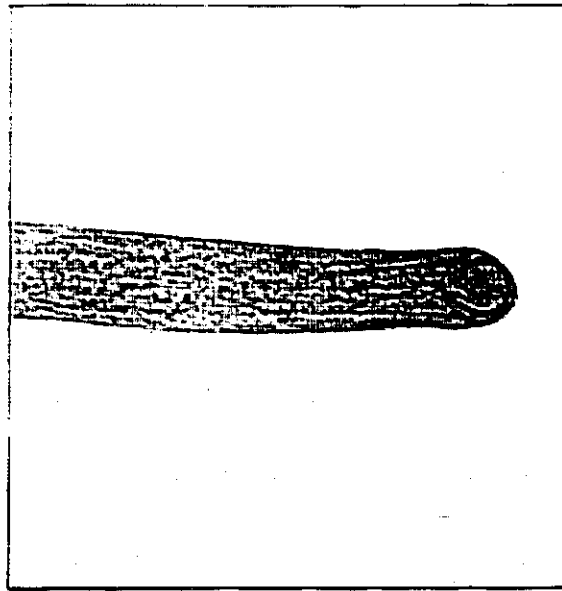
経膈感染 7日目 ③ 體長 3.0mm



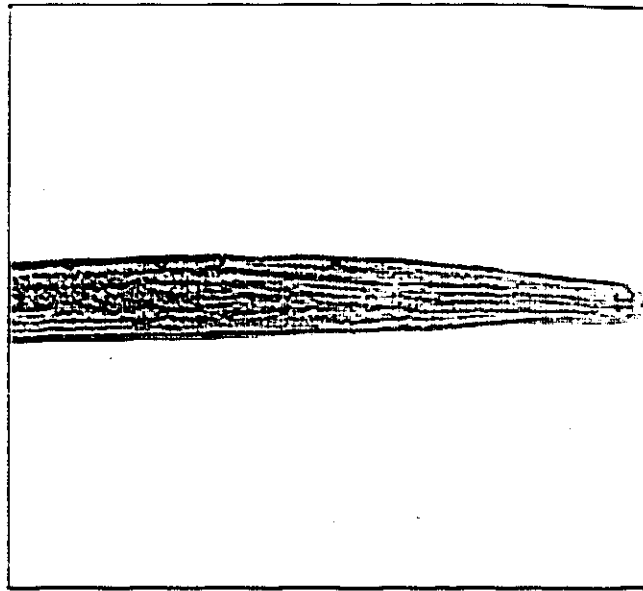
経膈感染 7日目④ 脱皮ヲ完了セルモノ 體長 2.7mm



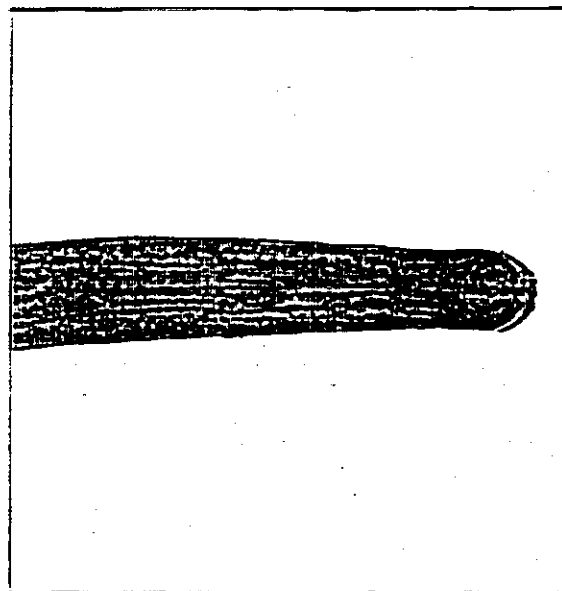
口原基 共ノ四



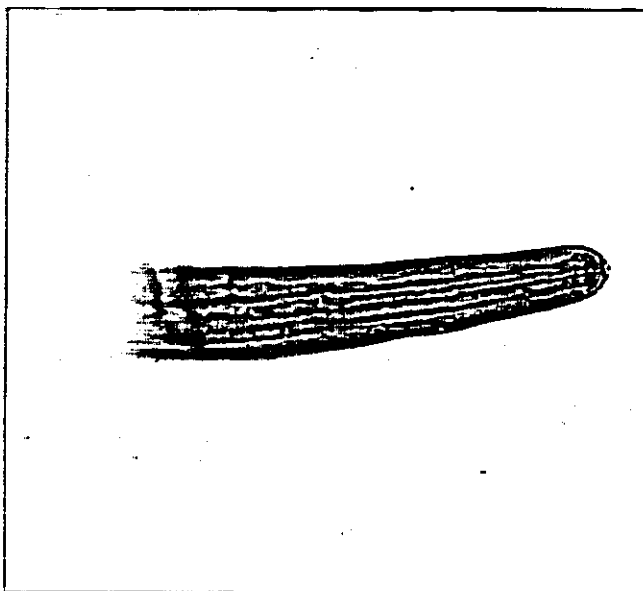
口原基 共ノ一



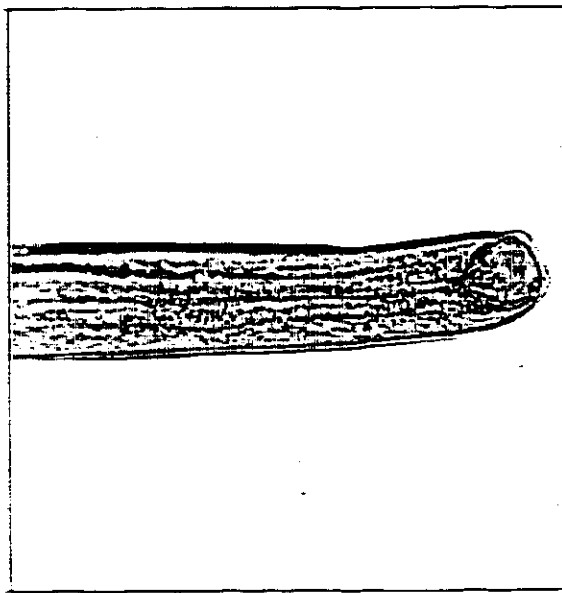
口原基 共ノ五



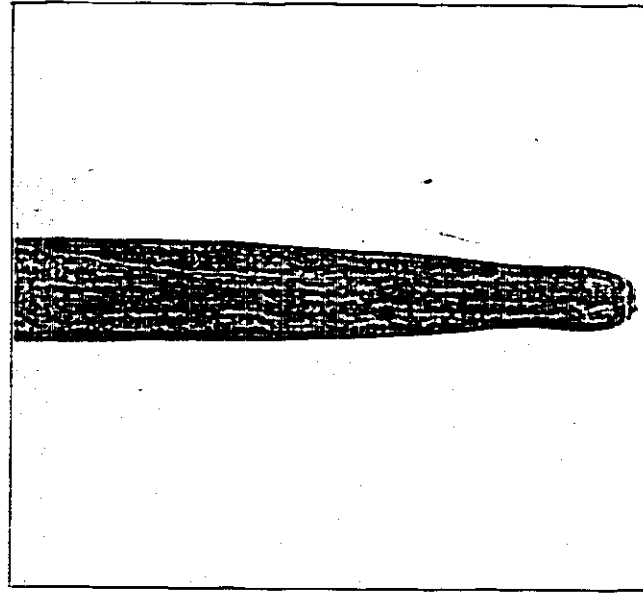
口原基 共ノ二



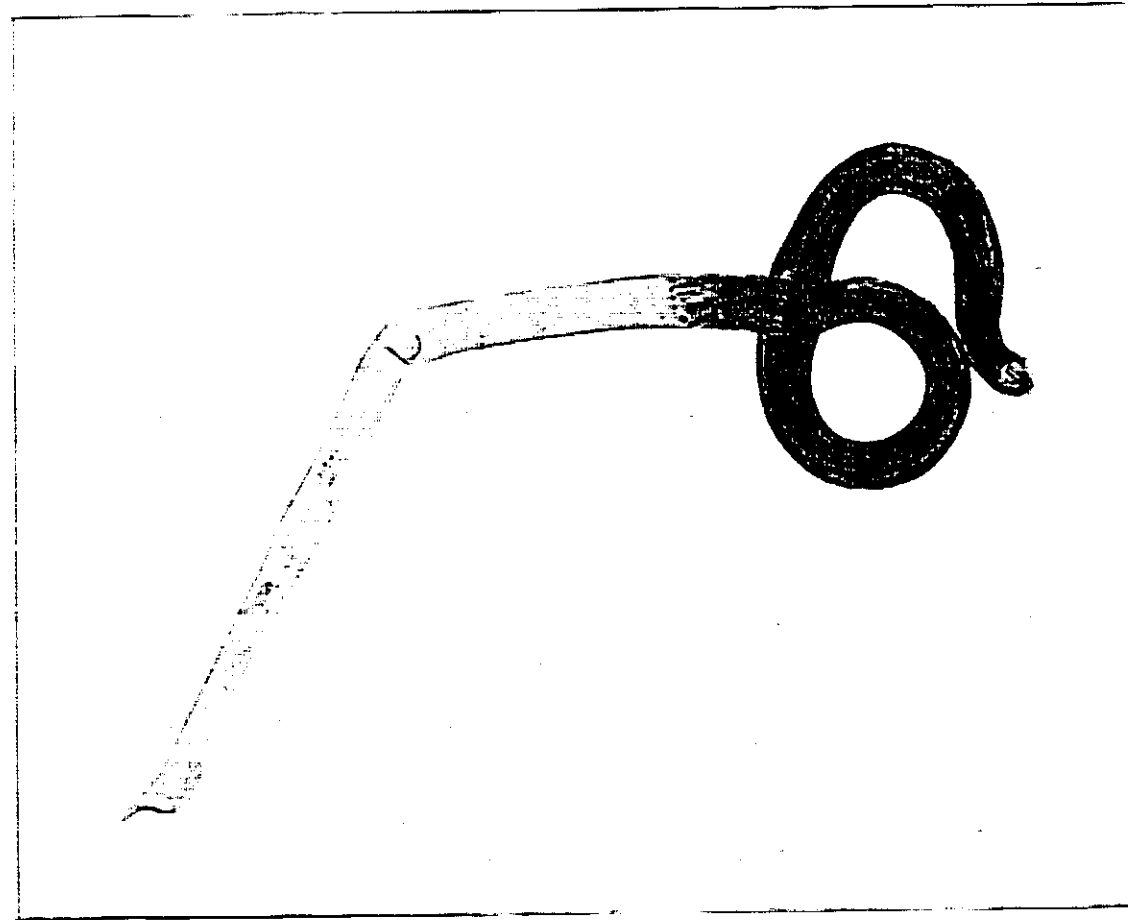
完成セル初期口



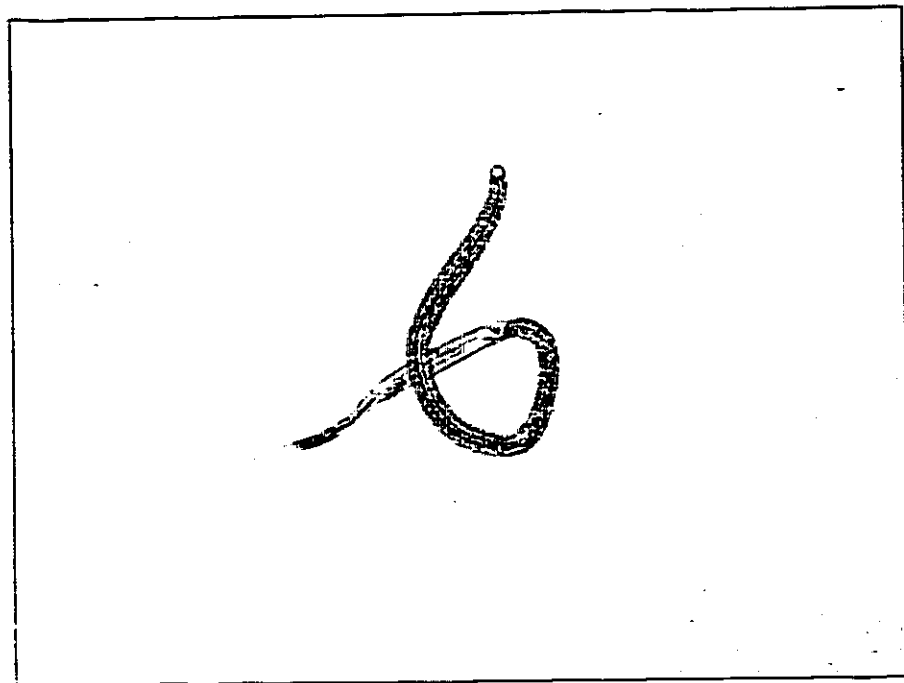
口嚢原基 共ノ三



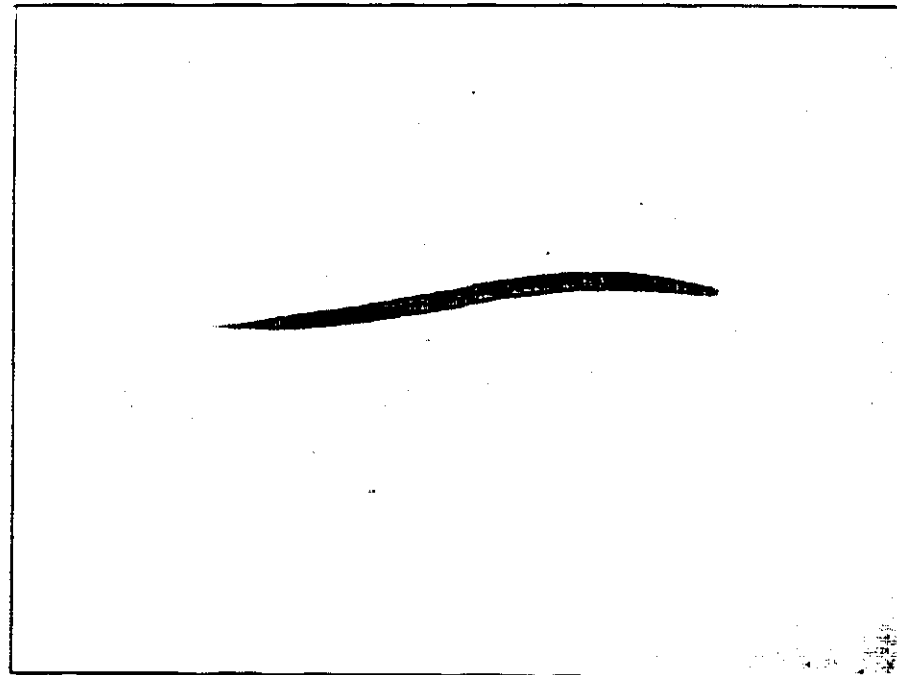
經膚感染7日目 ① 最後ノ脱皮ヲ行ヒツ、アルモノ



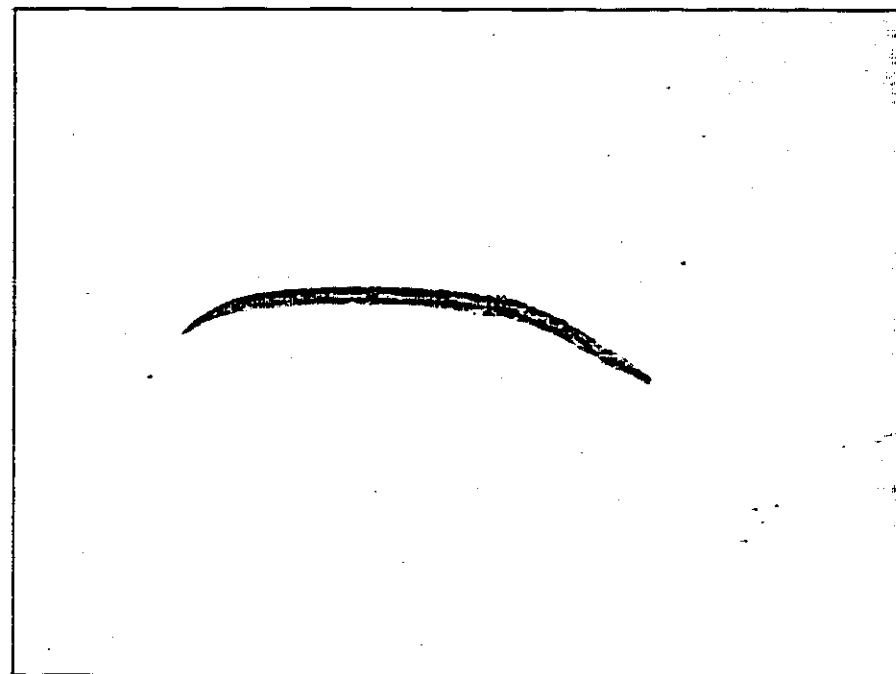
經膚感染72時間目 ② 第三回脱皮中ノモノ



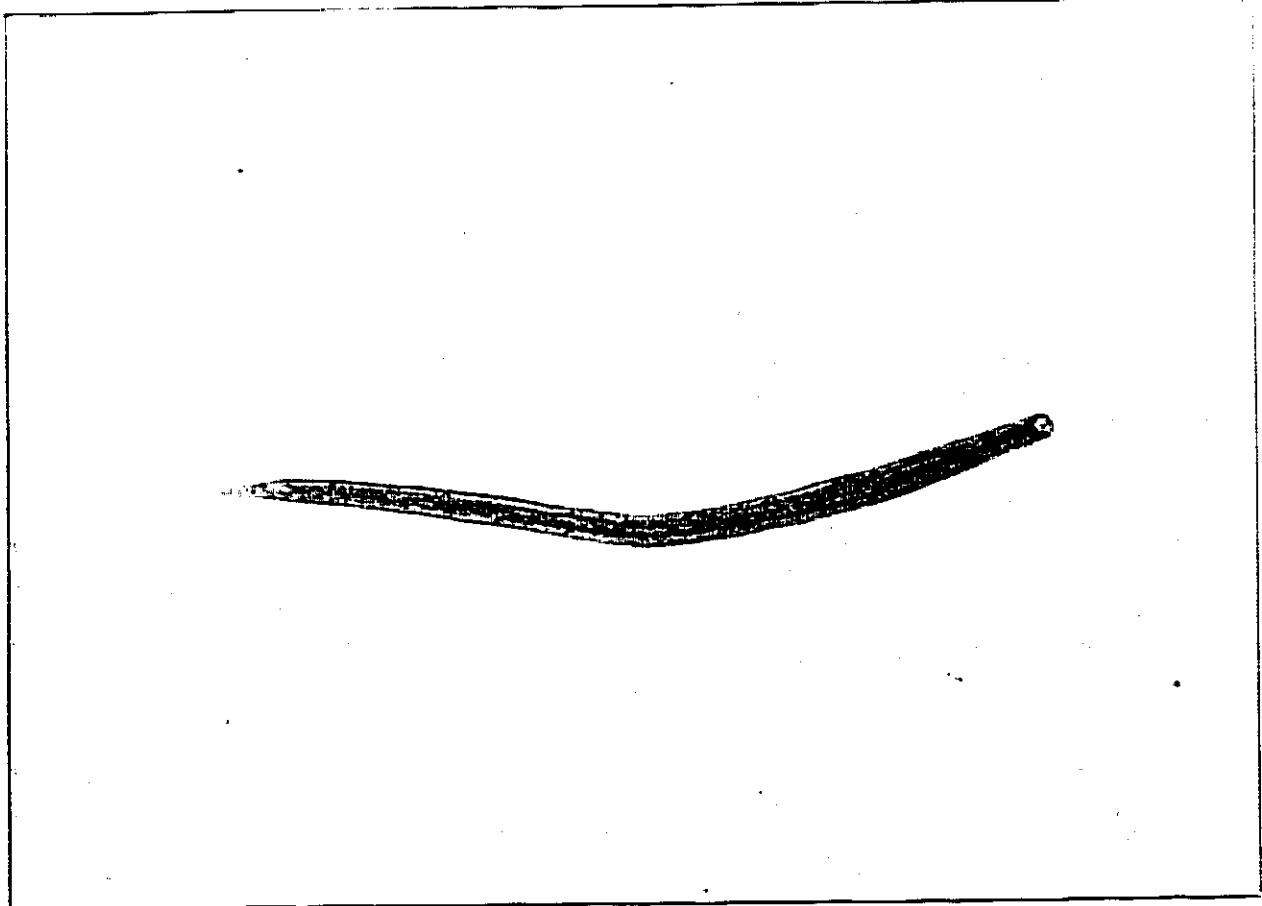
家兎経口4S時間目 肺 長 0.6787 | mm
幅 0.02417 | mm



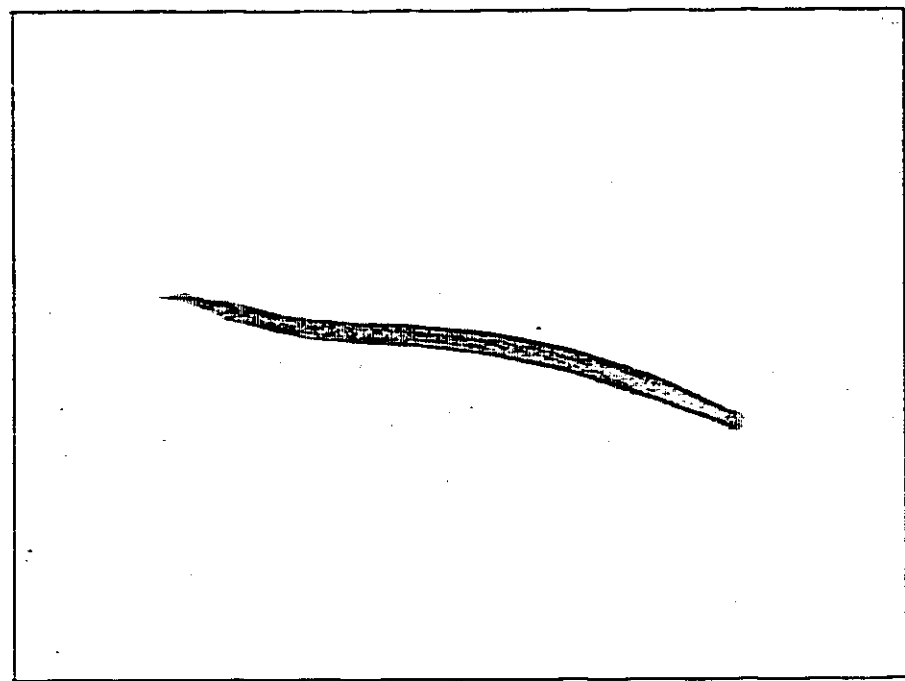
モルモット4S時間目 小腸 長 0.6613 | mm
(第一次家兎経口4S時間目肺) 幅 0.02484 | mm



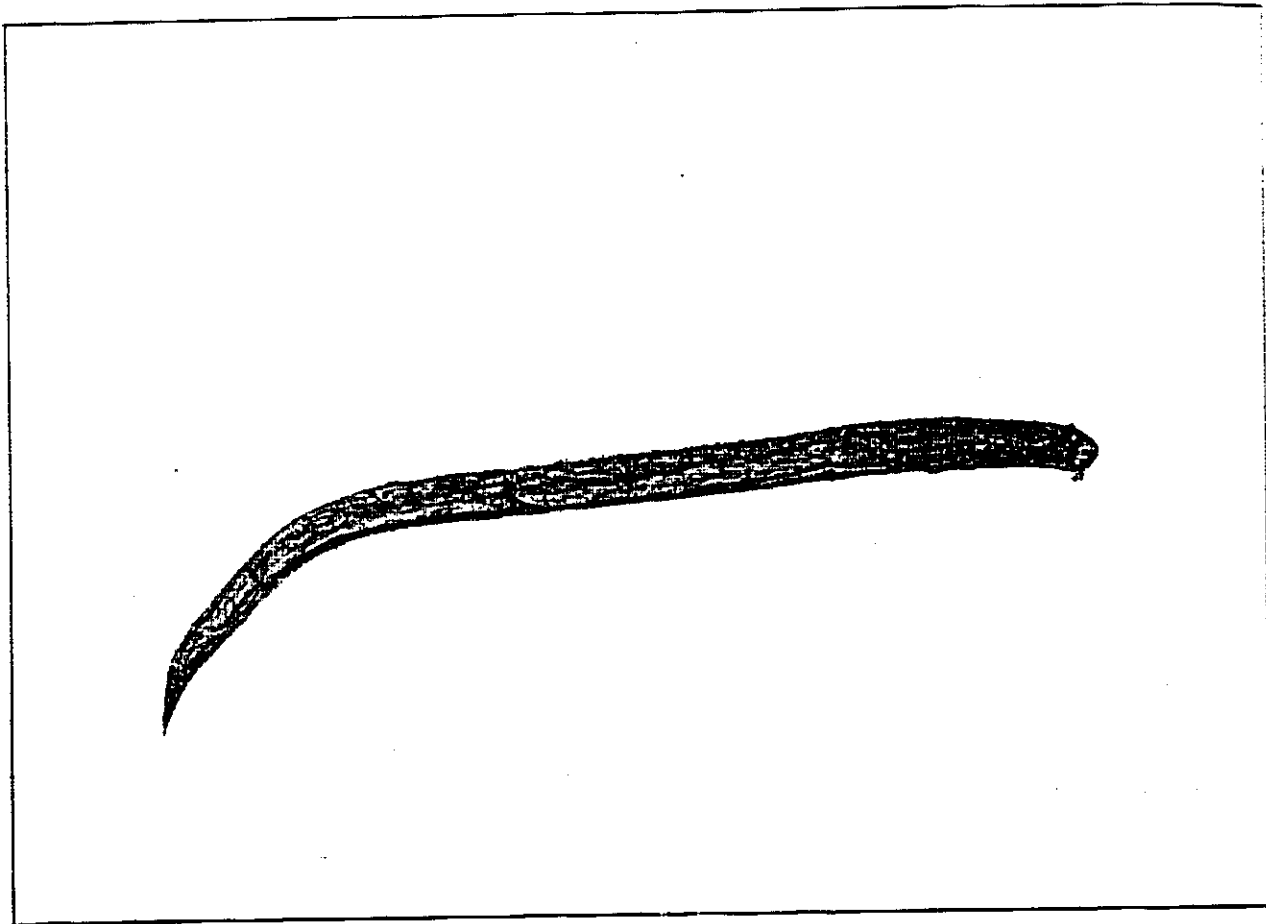
モルモット43時間目 小腸 長 1.0589
(第一次大経皮48時間小腸) 幅 0.01109 mm



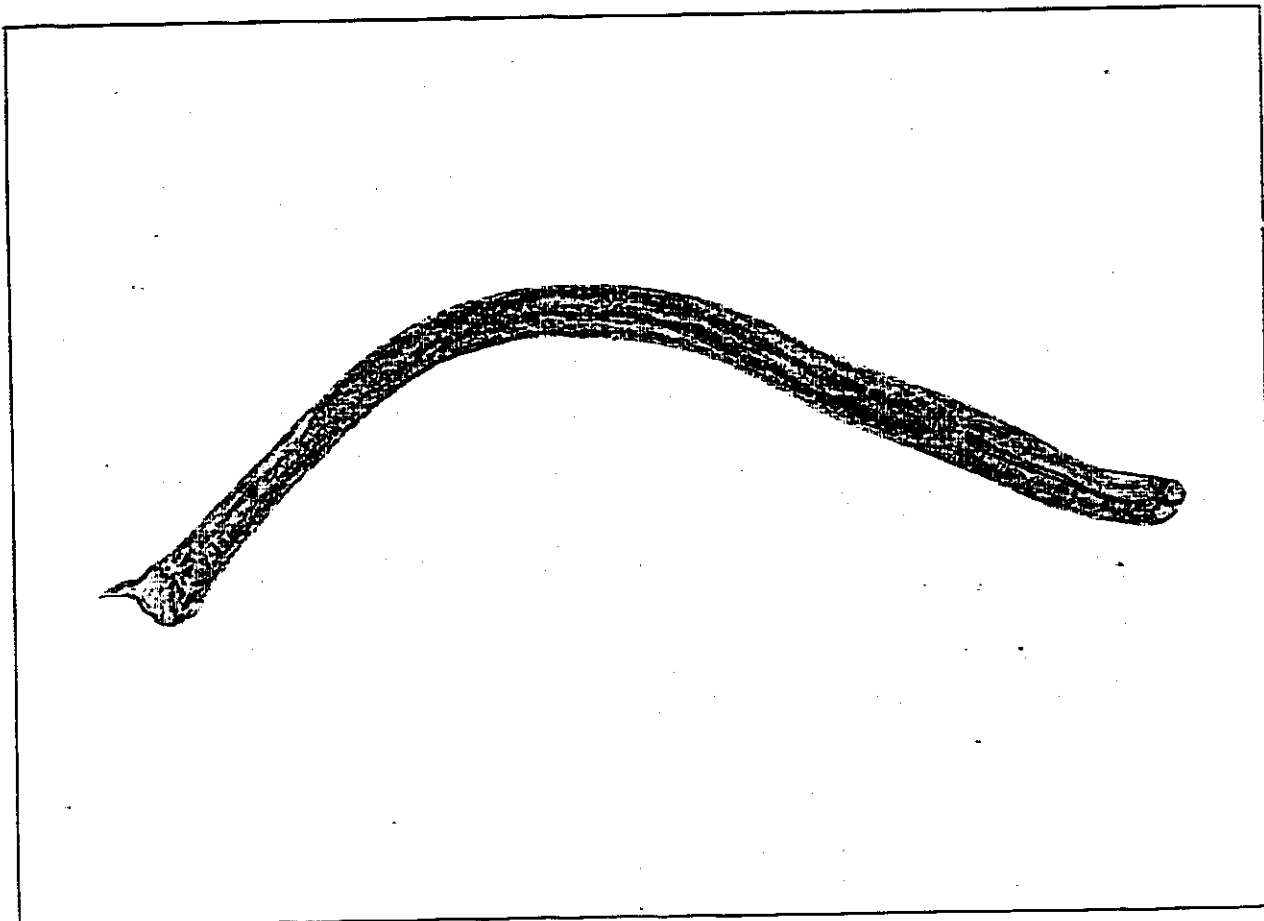
モルモット43時間目 小腸 長 0.7212 } mm
(第一次大経皮24時間 肺) 幅 0.03060 }



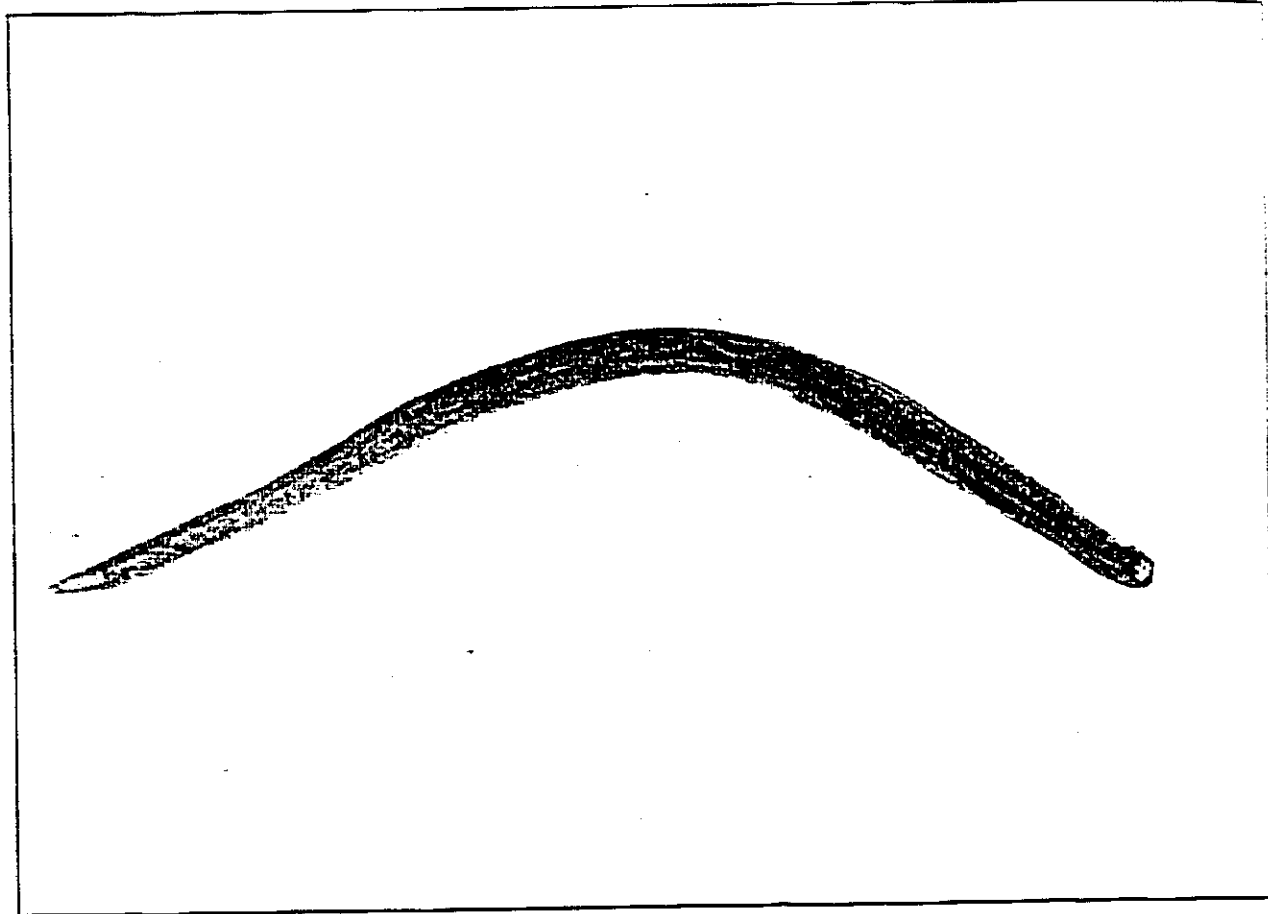
モルモット 67時間目 小腸 (第一次大経腸 72時間小腸) 長 1.77 | mm
幅 0.0887 | mm



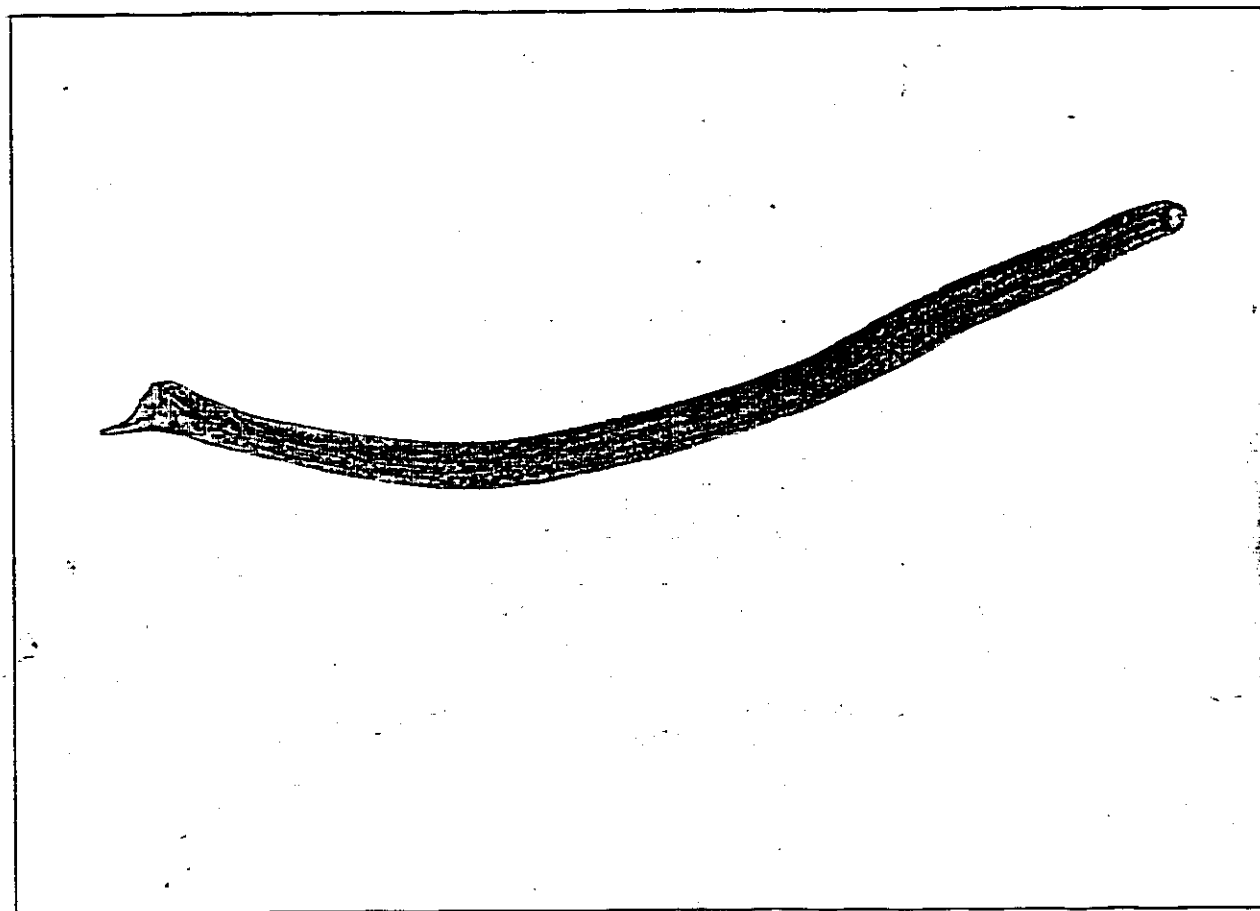
モルモット 67時間目 小腸 (第一次大経腸 72時間小腸) 長 2.25 | mm
幅 0.1173 | mm



モルモット 7日目大腸 (第一次大経腸 72時間小腸) 長 1.8
幅 0.08655 mm

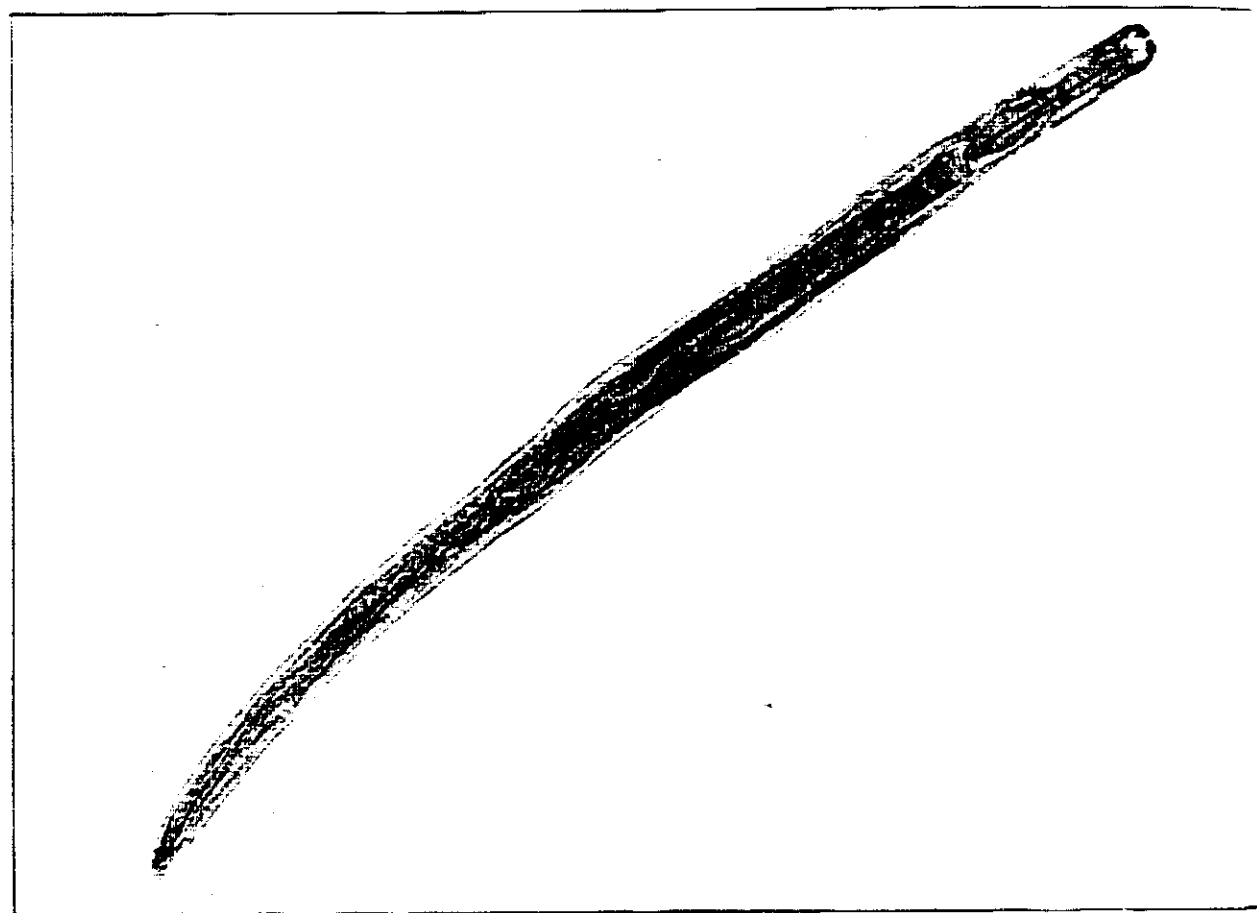


モルモット 7日目大腸 (第一次大経腸 72時間小腸) 長 1.8
幅 0.08655 mm



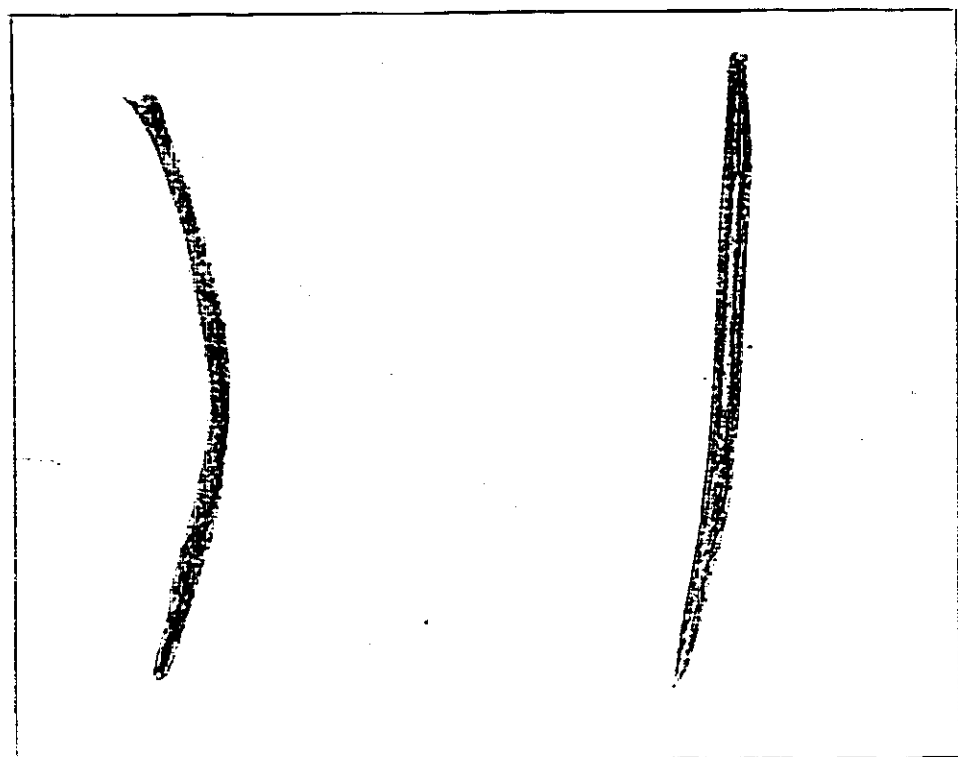
家兔10日目大腸
(第一次大經腸48時間小腸)

長 5.6
幅 0.2140 } mm

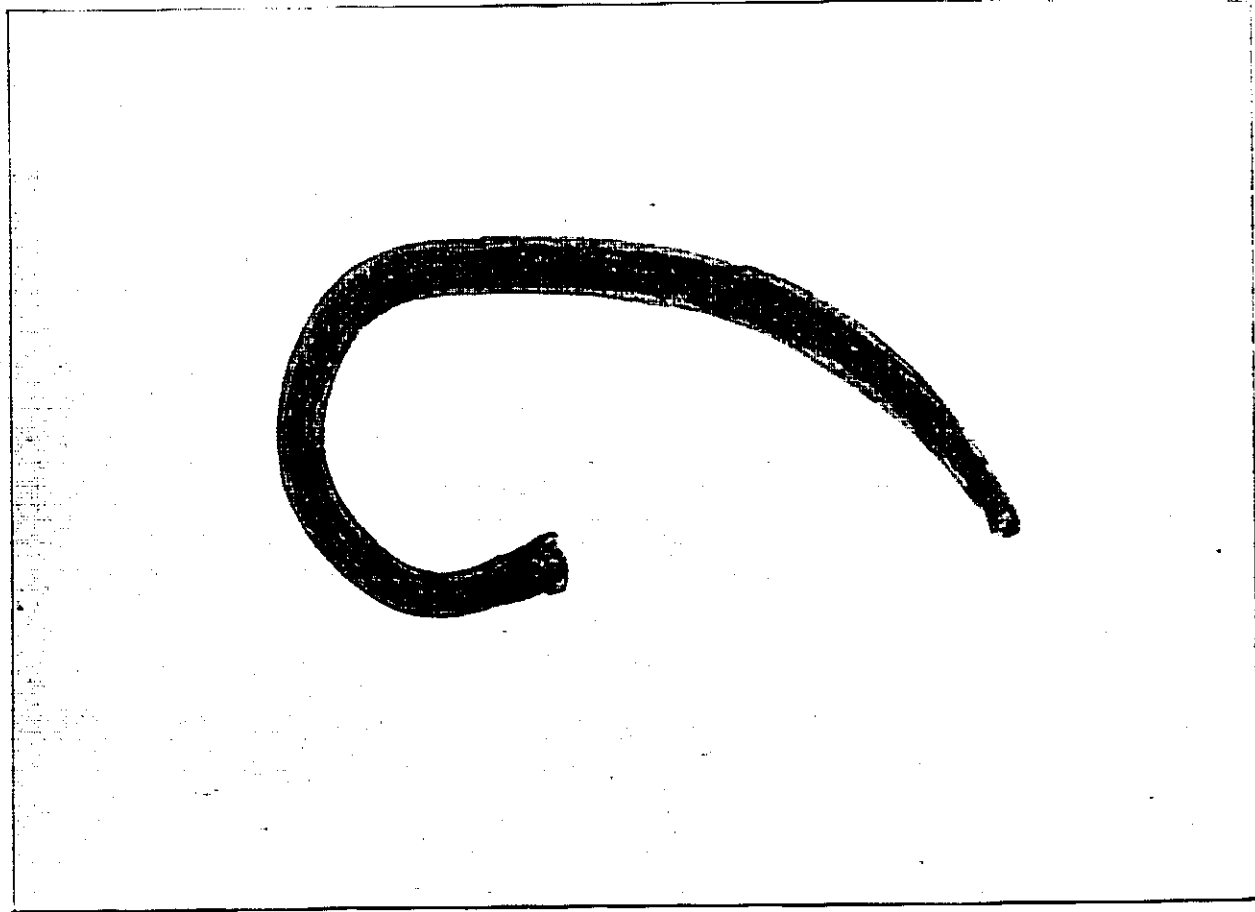


家兔70時間目小腸
(第一次大經腸48時間小腸)

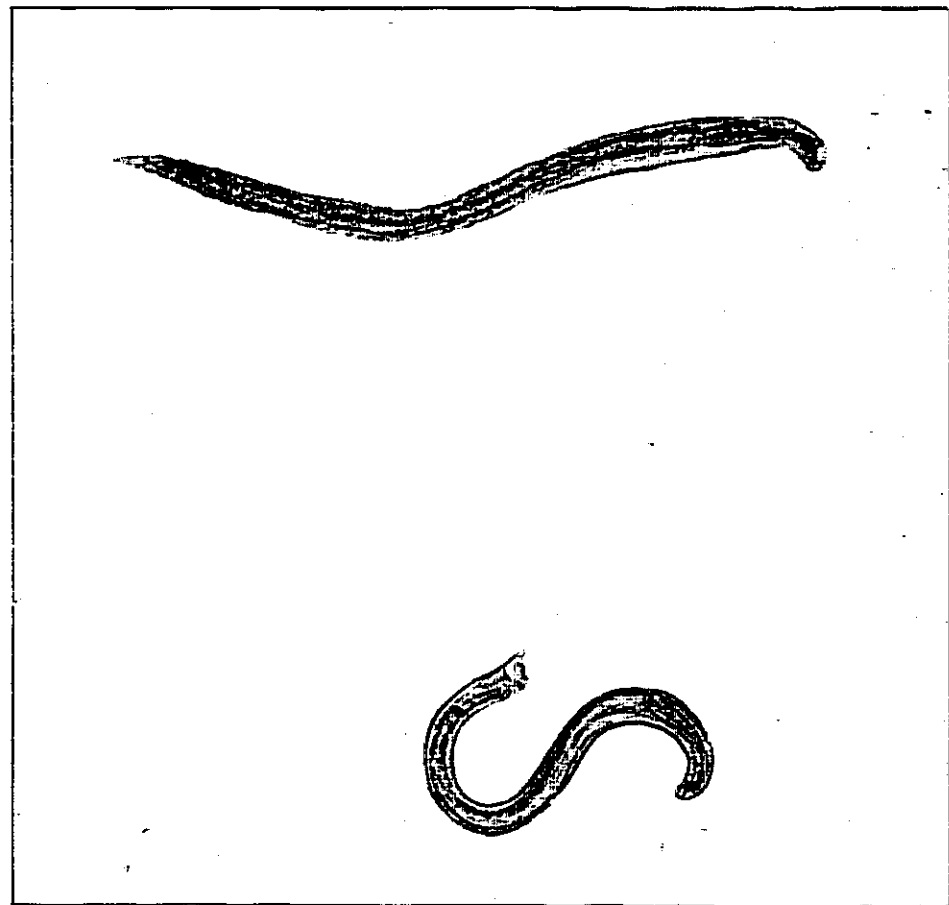
長 1.92 } mm
幅 0.0856 }
長 2.13 } mm
幅 0.0856 }



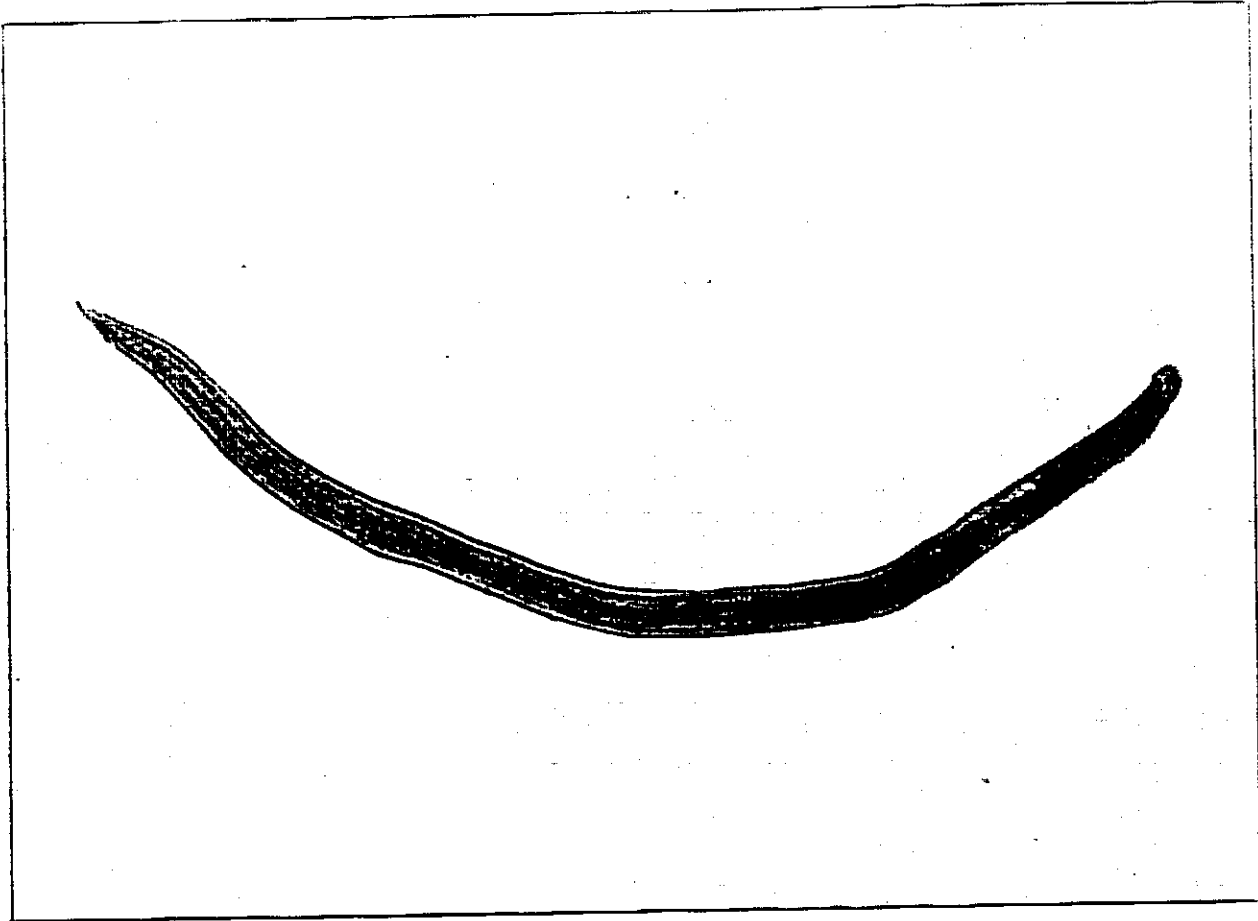
家兔 8日目 小腸 (第一次犬經時 72時間小腸) 長 3.85 | mm
幅 0.1648 | mm



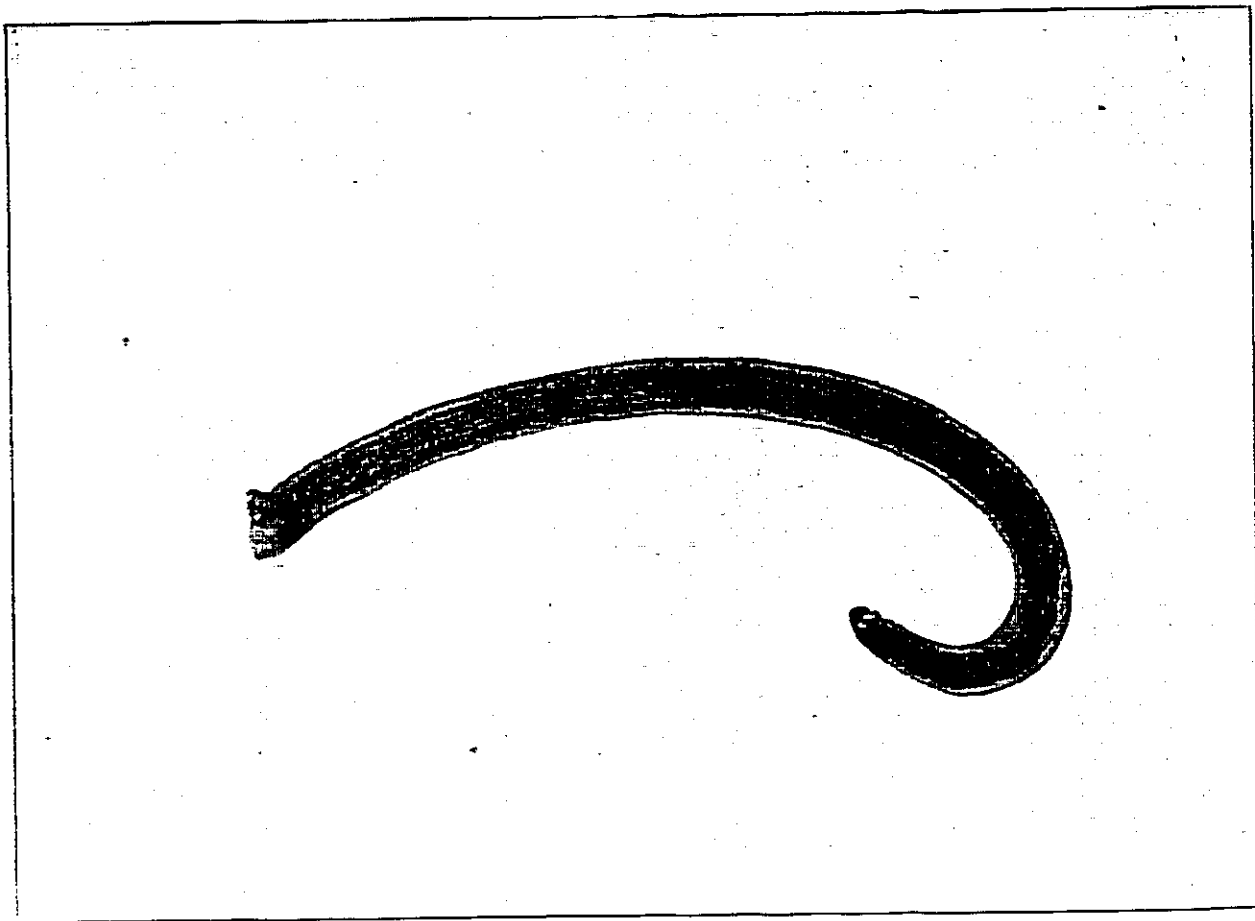
家兔 4日目 小腸 (第一次犬經時 72時間小腸) 長 2.68 | mm 長 2.08 | mm
幅 0.1553 | mm 幅 0.1227 | mm



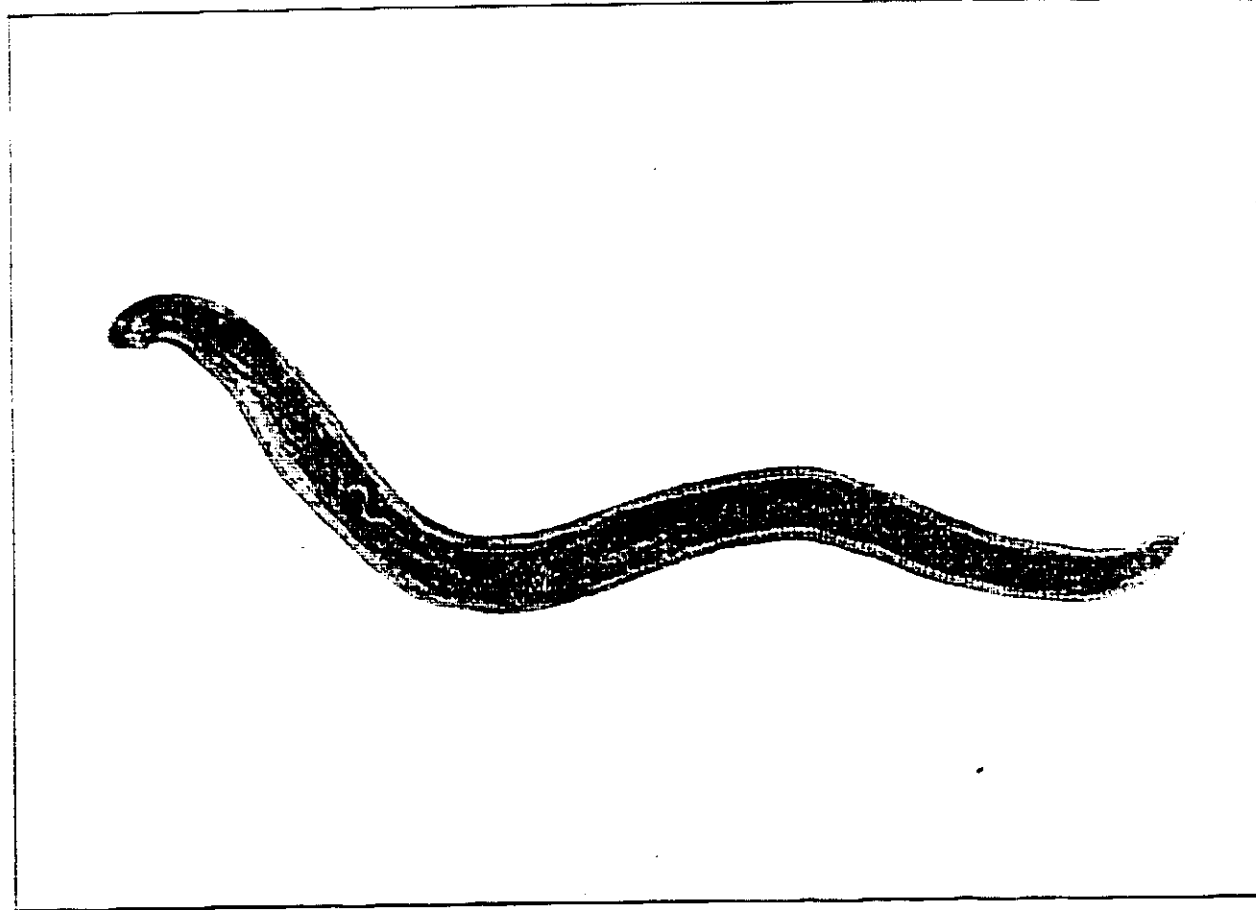
家兔9日目 小腸 (第一次大經口 48時間小腸) 長 3.35mm



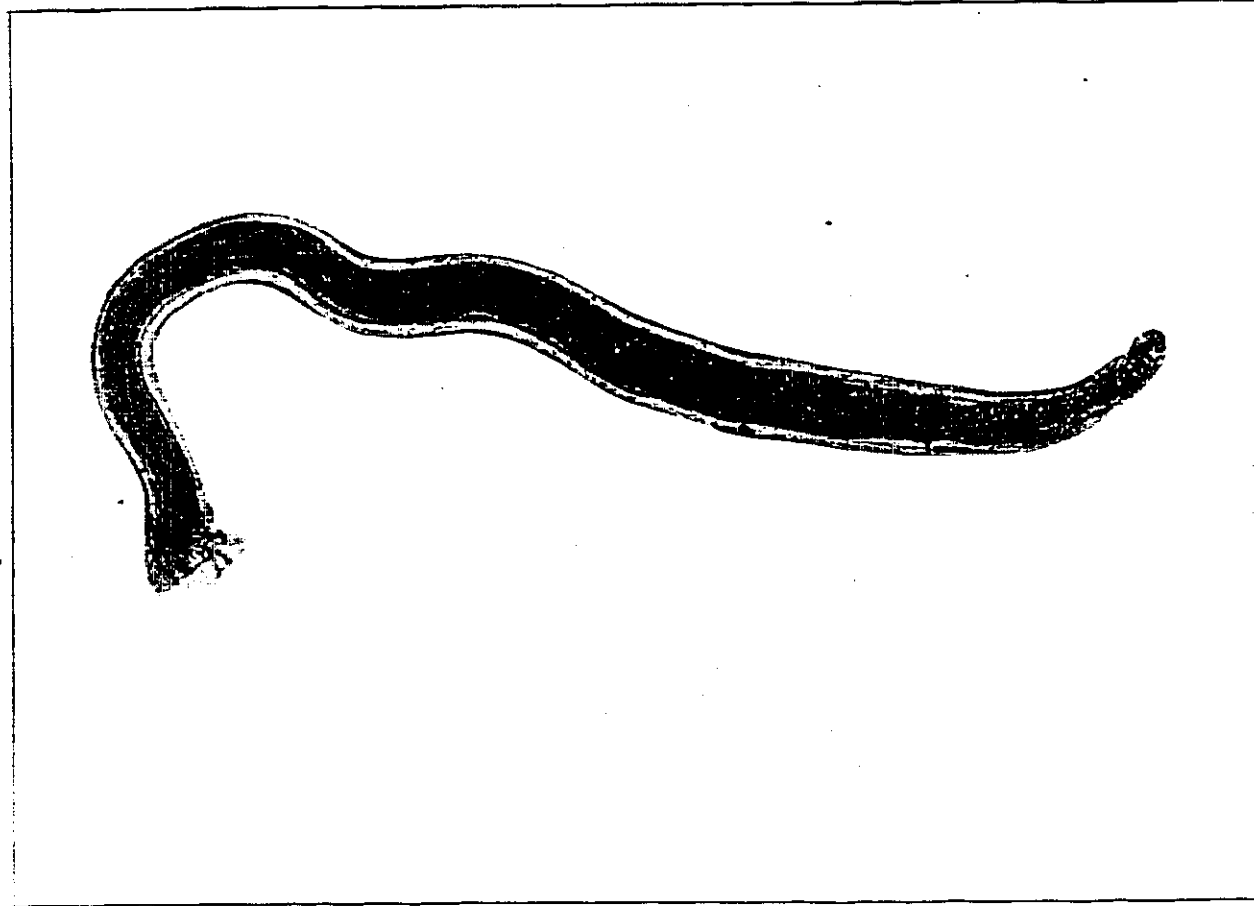
家兔9日目 小腸 (第一次大經口 48時間小腸) 長 3.55mm



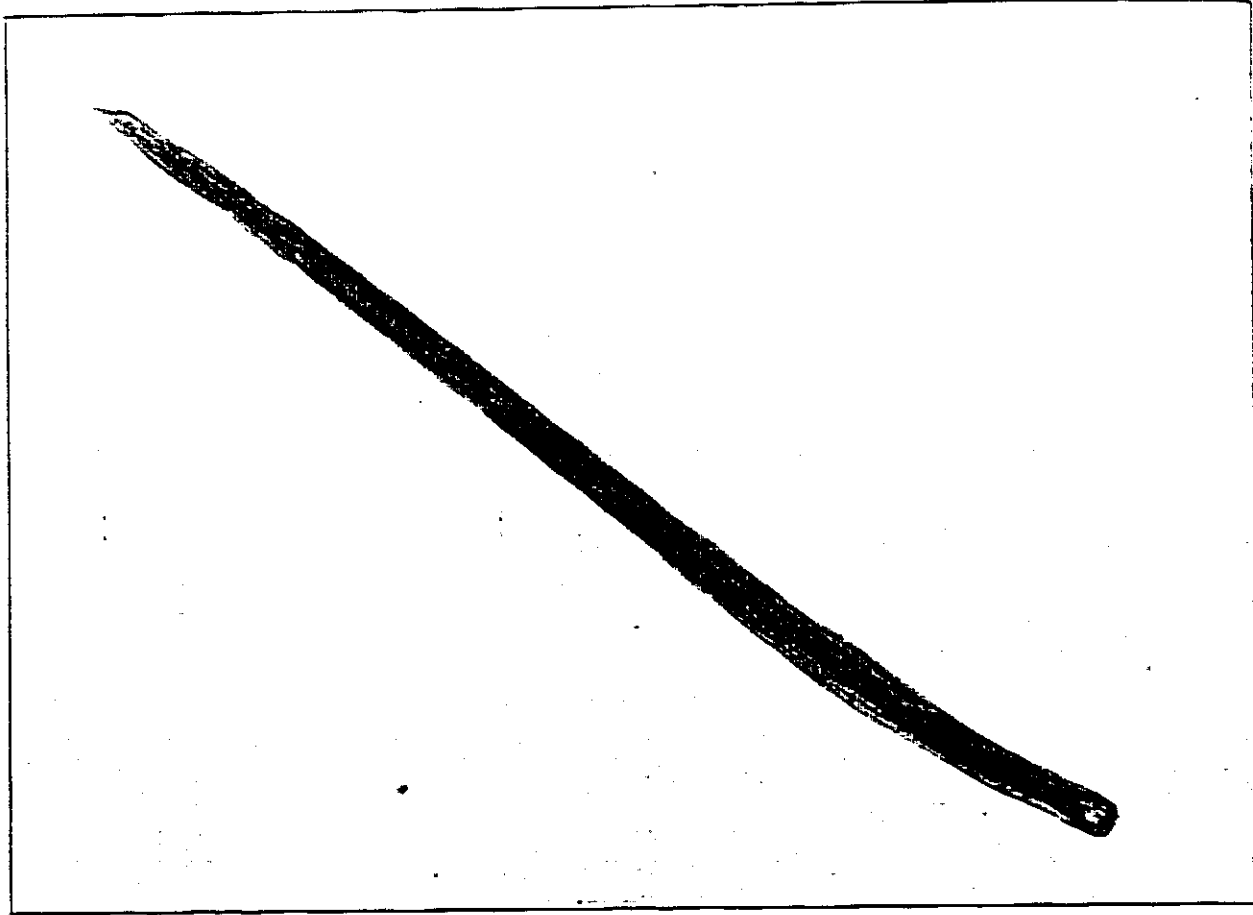
家兔11日目 小腸 (第一次大經膺24時間目) 氣管 長 4.35
幅 0.1432



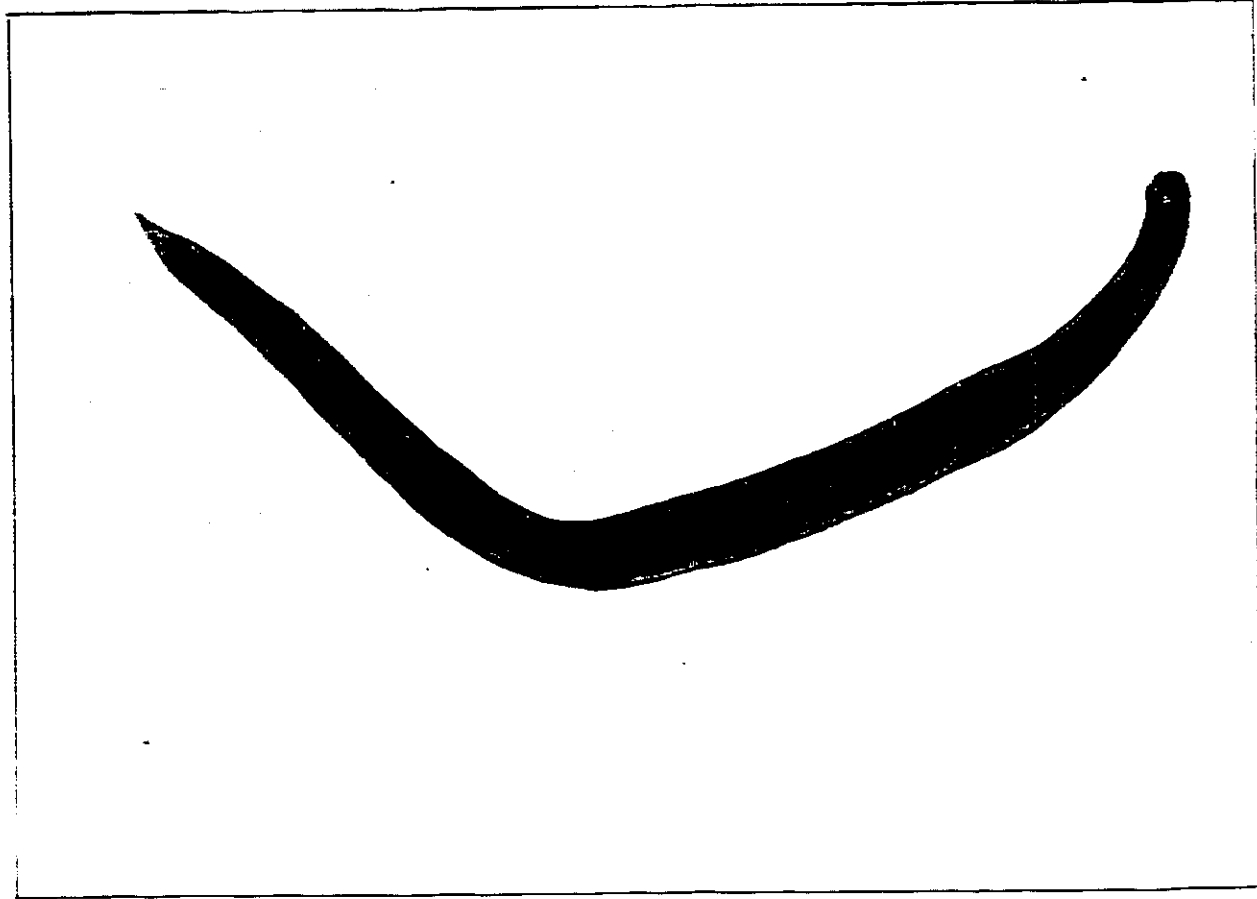
家兔11日目 小腸 (第一次感染大經膺24時間目) 氣管 長 4.23
幅 0.1808



家兔12日小腸 (第一次大經口72時間小腸) 長355mm



家兔4日小腸 (第一次大經膈8日目小腸) 長40mm



六十二指腸蟲の經口的並に經皮的感染に關する實驗的研究 第三編

十二指腸に種屬特異性 *Interspecificity* のあることは今更ら申す迄もない事實であるが、一度完熟仔蟲が、一定時間の間固有宿主の體組織内に滞留する時には茲に特種の性能を附與せられて、それが次いで非固有宿主の體内に取り入れられると、可なりの程度に迄發育する様になる、時には殆んど成蟲に近い程度に近い程度に迄も發育する、言ひ換へると、十二指腸蟲の完熟仔蟲は、固有宿主の體組織によつて一定期間操作せられると、茲に種屬特異性を略ぼ失はんとする現象があるのである、此の種的作用を最も顯に著有する組織は宿主の肺臟組織であるが、然し皮下組織、肝臟、腎臟、胃腸壁の組織にも、多少は存在する、故に十二指腸蟲の感染に際して、其の経路が經皮的なると經口的なるとを問はず仔蟲が宿主の體組織内、特に肺臟組織内等に一定期間滞留するといふことは、生物學的に可なり重大なる意義があるものといふことを、私は宮川教授と共同研究に於て認めることが出来た。

茲に尙興味ある問題は、六十二指腸蟲の完熟仔蟲を固有宿主たる犬に經口的に感染させても、決して總てが發育を完ふして成蟲となるものではない、其の大多數は糞便と共に排泄せられるか、又は死滅崩壊し終はるもので、一部分のみが發育を完ふするものである、此の様な現象は犬の年齢に依つて非常に相違があつて幼犬程仔蟲の發育率がよい、老犬程發育率が悪い、此の様な現象を惹起する原因には色々あるであらうが、其の一として下の様なことを考へて見たい、經口的に攝取せられた仔蟲は、消化管内容の色々な障礙性作用のある物質の爲めに妨げられて、終に宿主の體組織内に穿入し、特種の性能を附與せられることが出来ないで終はるものが多いといふことに大なる原因があるのでないからうか、此の解説をして如實に思はしめるのは下の様な事實があるからである、即ち、六十二指腸蟲の完熟仔蟲を經皮的に感染させると、是等仔蟲が消化管に達するには、必然の行爲として肺臟其他の組織を通過しなくてはならない、此の爲めに上記の様な特種の性能は充分に附與せられて後に始めて消化管に達することになるから、最早消化管内の種種の障礙に充分に抵抗し得る性能が附與せられて居る、だから無意義に糞便内に排泄し終はるといふ様なことはない、誠に理論と實際とが一致して居る事實を認めることが出来るのである、此の事實は經口的に攝取せられた仔蟲が非常に多く糞便内に排泄せられる理由を善く解説し得ると思ふ、尙茲に一つの疑問は何故に年齢によつて感染率に相違があるであらうと言ふ事柄であるが、之れに向つては今日充分の説明が出来ない。

之れを要するに固有宿主の體組織は十二指腸蟲仔蟲に對して特種的作用を爲すものであることは上記の事實から何等疑を挟む餘地がない、然らば此の特種作用をなす組織は固有宿主の生ける細胞の作用であるであらうか、或は體液の作用であるであらうかは、是非解決して見たい事柄である、此の目的の爲めに私は先づ犬の血液をとり之れを血清、血漿、血球及血球溶解液とに分けて、完熟仔蟲に一定時間操作して其影響を検して見た、第二には犬の肺臟、肝臟、腎臟、胃腸壁及皮膚の組織の乳劑を用ひて同様の操作を試みた、又經皮的又は經口的に感染したる仔蟲を犬の組織